

米国エネルギー省支援物資の受入申請書

平成23年4月6日

原子力安全・保安院長 殿

東京都千代田区内幸町1-1-3

東京電力株式会社

代表取締役社長 清水 正孝

米国エネルギー省から提供される支援物資について、当該物資を受け入れたいので、下記のとおり申請します。

記

1. 支援物資の品名及び数量

別紙1のとおり

2. 受け入れの目的

東京電力株式会社が行う、福島第一原子力発電所の事故の収束に向けた対応に使用するため。

3. 受け入れ期日及び受け入れ場所

受け入れ期日 別紙1のとおり

受け入れ場所 別紙1のとおり

4. その他受け入れに当たっての申し送り事項

東京電力株式会社は、平成23年度3月11日に発生した東北地方東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故の収束に向けた対応のため、米国エネルギー省から提供される別紙1に定める支援物資について、当該物資の使用及びその使用から生じる損害の他、当該物資に関する損賠賠償請求の一切の責任を東京電力株式会社が受けます。

支援物資の品名及び数量

支援物資名	規格	数量	単価※	金額※
Qinetiq TALON ロボット		1式	196,138 米ドル (16,903,172 円)	196,138 米ドル (16,903,172 円)
放射線計測器 3種	高, 中, 低各レンジ	1式	14,000 米ドル (1,206,520 円)	14,000 米ドル (1,206,520 円)
耐放射線カメラ 5種		1式	210,087 米ドル (18,105,297 円)	210,087 米ドル (18,105,297 円)
水中カメラ	防水	1台	21,677 米ドル (1,868,123 円)	21,677 米ドル (1,868,123 円)
ガンマカメラ		1式	187,669 米ドル (16,173,314 円)	187,669 米ドル (16,173,314 円)

※日本円への為替レートは 2011 年 4 月 6 日時点の為替レート (対顧客電信売) 86.18 円/
米ドルに基づく。円換算後の 1 円未満は切捨て。

受け入れ期日

平成 23 年 4 月 14 日

受け入れ場所

独立行政法人産業技術総合研究所 つくば北サイト (茨城県つくば市大字寺具字柏山 1 4
97-1)

受領書

平成23年4月14日

原子力安全・保安院長 殿

東京都千代田区内幸町1-1-3

東京電力株式会社

代表取締役社長 清水 正

平成23年4月8日付け平成23・04・08原院第6号をもって、原子力安全・保安院長 寺坂 信昭から引渡しの承認を受けた米国エネルギー省からの支援物資について、下記のとおり引渡しを受けました。

記

1. 支援物資の品名及び数量

別紙1のとおり

2. 支援物資の引渡条件に従う旨

米国エネルギー省支援物資引渡承認文書の別紙2に定められた引渡条件を遵守することを誓約します。

支援物資の品名及び数量

支援物資名	規格	数量	単価※	金額※
Qinetiq TALON ロボット		1式	196,138米ドル (16,903,172円)	196,138米ドル (16,903,172円)
放射線計測器3種	高, 中, 低各1台	1式	14,000米ドル (1,206,520円)	14,000米ドル (1,206,520円)
耐放射線カメラ 5種		1式	210,087米ドル (18,105,297円)	210,087米ドル (18,105,297円)
水中カメラ	防水	1台	21,677米ドル (1,868,123円)	21,677米ドル (1,868,123円)
ガンマカメラ		1式	187,669米ドル (16,173,314円)	187,669米ドル (16,173,314円)

※日本円への為替レートは2011年4月6日時点の為替レート(対顧客電信売)86.18円/米ドルに基づく。円換算後の1円未満は切捨て。

引 渡 条 件

1. 受入者は、支援物資の受け入れに要する費用を負担すること。
2. 受入者は、善良な管理者の注意をもって管理及び使用実績を記録し、その効率的使用に努めること。
3. 受入者は、原子力安全・保安院長から指示がある場合は、その指示に従うこと。
4. 受入者は、支援物資の放射線汚染の有無に関わらず、それを米国人、米国公的機関及び米国民間機関に対し、売却及び移管しないこと。
5. 受入者は、支援物資の使用目的を達した時は、原子力安全・保安院長に報告するとともに、その処分方法について協議すること。また、処分に要する費用は受入者自ら負担すること。



Re: IAEA6月報告書の精査につきまして

宛先: [Redacted]
Cc: [Redacted]

2011/08/25 17:28

原子力安全・保安院国際室
木村様

お世話になっております。ご依頼の6月報告書の精査結果をお送り致します。
訂正すべき点を見つけたのは、IV章とV章です。VI章、VII章、X章については見つかりませんでした。
添付人正誤表をお送りしますので、よろしくご査収ください。

東京電力 [Redacted]

Original Message

From: [Redacted]
To: [Redacted]
Cc: [Redacted]

Sent: Tuesday, August 23, 2011 3:17 PM
Subject: IAEA 6月報告書の精査につきまして

>
> 東京電力
> 原子力・立地業務部
> [Redacted]様

> 原子力安全・保安院国際室の木村と申します。
> 突然の御連絡恐れ入ります。
> 8月16日(火)のIAEA9月報告書作成委員会でも依頼させて頂きましたが、
> 下記のエクセルファイルを御参照頂き、御社御担当部分につき精査頂ければ幸い
> です(X章など保安院担当者が既に不在の章もございますことから、データの記載
> ミス等を中心に注意深く御確認頂ければと思います)。
> 御多忙のところ大変恐縮ですが、よろしくお願い申し上げます。

> 【依頼紙】
> (See attached file: (修正) IAEA報告書精査依頼.doc)

> 【割り振り】
> (See attached file: 110823 IAEA 6月報告書精査割り振り.xls)



V章「緊急時対応と評価」正誤表.doc IV章「福島原子力発電所等の事故の発生と進展」正誤表Rev2.doc

IAEA報告書の記載内容の変更前後表

頁	行	表	記載	変更前	変更後	備考
IV-10	-		脚注1行目	床面の三ンクリート	床面のコンクリート	誤記訂正
IV-13	-	IV-2-1	CS吐出圧 ポンプ吐出圧力 [kg/cm ² g] 20 [kg/cm ² g] (1号機) 35.2 [kg/cm ² g] (2,3号機)		(20 [kg/cm ² g]、35.2 [kg/cm ² g]は設置許可申請書によれば系統設計圧力であり、同じく設置許可申請書では全揚程200mm(1号機)、204mm(2,3号機)となっているので、項目を「系統設計圧力」として数値はそのままとするか、もしくは、「ポンプ全揚程」として200mm(1号機)、204mm(2,3号機)にしてはどうか)	
IV-13	-	IV-2-1	SRV吹き出し圧力(安全弁機能) 3号機が空欄	空欄	(2号機と同じ値を記載)	記載の適正化
IV-14	-	IV-2-2	(最終行) ③非常用DGの専用化	~2,4,5号機に~	~2,4,6号機に~	誤記訂正
IV-14	-	IV-2-2	(最終行) ③非常用DGの専用化	(2F1~4)○	-	誤記訂正
IV-14	-	IV-2-2	AM対策項目	1. ①□循環ポンプ トリップ 2. ①□替注水手段 3. ①□D/Wクーラー 4. ①□源の融通	①再循環ポンプ トリップ ①代替注水手段 ①D/Wクーラー ①電源の融通	PDF化した際の文字化けだと思われます
IV-29	-	IV-3-1	福島第二, 1号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態, 1570体(うち新燃料200体)	1570体	1770体	記載の適正化(外数内数に変更)

I A E A 報告書の記載内容の変更前後表

頁	行	表	記載	変更前	変更後	備考
IV-29	-	IV-3-1	福島第二, 2号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態, 1638体(うち新燃料80体)	1638体	1718体	記載の適正化(外数内数に変更)
IV-29	-	IV-3-1	福島第二, 3号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態, 1596体(うち新燃料184体)	1596体	1780体	記載の適正化(外数内数に変更)
IV-29	-	IV-3-1	福島第二, 4号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態, 1672体(うち新燃料80体)	1672体	1752体	記載の適正化(外数内数に変更)
IV-30	14			富岡選	富岡線	誤記訂正
IV-33	9	-	・・・、コンクリートポンプ車による海水放水が行われた。	海水放水	海水または淡水の放水	参考(1)
IV-45	-	IV-5-1	D/W圧力 840kPa	4:15	2:45	プラント関連パラメータ
IV-45	-	IV-5-1	原子炉水位低下 原子炉水位 TAF-100から200mm(燃料域A)、TAF-100から200mm(燃料域B)	7:55	7:30	プラント関連パラメータ
IV-45	-	IV-5-1	原子炉水位低下 原子炉水位 TAF-100から200mm(燃料域A)、TAF-100から200mm(燃料域B)	TAF-100から200mm(燃料域A)	TAF 0から200mm(燃料域A)	プラント関連パラメータ
IV-45	-	IV-5-1	原子炉水位低下 原子炉水位 TAF-100から200mm(燃料域A)、TAF-100から200mm(燃料域B)	TAF-100から200mm(燃料域B)	TAF から200mm(燃料域B)	プラント関連パラメータ
IV-46	-	IV-5-1	原子炉建屋環境改善のため、局所排風機を設置し、全台運転開始	排風機	排風機	誤記訂正
IV-46	-	IV-5-1	原子炉建屋の二重扉を全解放	全解放	全開放	誤記訂正
IV-58	-	IV-5-2	RCIC停止中、・・・ドライウエル(D/W)圧力40kPa(3月11日23時55分)	23時55分	23時25分	参考(1)

IAEA報告書の記載内容の変更前後表

頁	行	表	記載		変更前		変更後	備考
			日	内容	日	内容		
IV-58	-	IV-5-2	3/13	3:00	D/W圧力上昇 (315kPa) (3月12日0時30分現在 40kPa)	3月12日0時30分現在 40kPa	記載削除	参考 (1)
IV-58	-	IV-5-2	3/14	19:54	海水注入開始 (1台の消火ポンプ起動)	消火ポンプ	消火ポンプ	参考 (1)
IV-58	-	IV-5-2	3/14	21:03	原子炉炉圧低下 (1418kPa)	原子炉炉圧低下	原子炉圧力	プラント関連パラメータ
IV-58	-	IV-5-2	3/15	15:25	・・・(原子炉圧力 0.119Pa、D/W圧力 0.174MPa gage)	0.119Pa	0.119MPa gage	記載の適正化
IV-58	-	IV-5-2	3/29	15:30	使用済燃料プールへの注水について消火ポンプから仮設電動ポンプによる淡水注水に切替え	15:30	16:30	参考 (1)
IV-58	-	IV-5-2	3/30	17:05	消火ポンプによる使用済燃料プールへの注水再開	全記載	記載削除	記載の適正化 (19:05の記載と重複のため)
IV-59	-	IV-5-2	4/19	17:28	使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプにより淡水を注水終了、約50t	約50t	約47t	参考 (1)
IV-59	-	IV-5-2	5/15	13:00	使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプにより淡水を注水開始	5/15	5/14	参考 (1)
IV-63	8	-	-	-	・・・、地震により、新富岡変電所の遮断器が・・・	新富岡	新福島	誤記訂正
IV-71	-	IV-5-3	3/17	19:35	使用済燃料プールへの機動隊の消防車による放水開始	機動隊	自衛隊	参考 (1)
IV-71	-	IV-5-3	3/17	20:09	使用済燃料プールへの機動隊の消防車による放水終了、約30t	機動隊	自衛隊	参考 (1)
IV-72	-	IV-5-3	5/8	14:10	使用済燃料プールへのFPCからの注水終了、60t	60t	約60t	記載の適正化

IAEA報告書の記載内容の変更前後表

頁	行	表	記載		変更前	変更後	備考
IV-73 -74 -75	図 番				図 IV-5-4 図 IV-5-5 図 IV-5-6	図 IV-5-7 図 IV-5-8 図 IV-5-9	誤記訂正
IV-76	14	-	-	・・・、地震により、新富岡変電所の遮断器が・・・	新富岡	新福島	誤記訂正
IV-79	-	IV-5-5	3/20	18:30	18:30	18:30頃	参考 (1)
IV-79	-	IV-5-5	3/25	10:20	約 20 t	約 21 t	参考 (1)
IV-80	-	IV-5-5	5/6	12:16	使用済燃料プール水位計測、温度測定	記載削除	誤記訂正 (2行重複記載のため)
IV-80	-	IV-5-5	5/7	11:00	使用済燃料プール水位計測、温度測定、サンプリング	水中撮影	参考 (1)
IV-83	-	IV-5-6	3/26	23:30	RHR 原子炉停止時冷却系モード (SHC モード)	23:20	プラント関連パラメータ
IV-83	-	IV-5-6	4/25	-	1/2号系統母線とのタイライン設置	5/6号	参考 (1)
IV-84	11	-	-	-	その後、15時40分には、津波の影響を受けて・・・	15時36分	参考 (3)
IV-85	-	IV-5-7	4/25	-	1/2号系統母線とのタイライン設置	5/6号	参考 (1)
IV-87	-	IV-5-8	-	-	崩壊熱の単位が示されていない	(MW)	記載の適正化
IV-87	-	IV-5-8	-	-	5号機、崩壊熱、事故発生時点 (3/11), 1.00	1.01	誤記訂正
IV-87	-	IV-5-9	-	-	3号機、採取日, 4月28日	5月8日	誤記訂正
IV-88	-	IV-5-10	3/28	-	共用プール温度 53℃	8:00	15条 183報

IAEA報告書の記載内容の変更前後表

頁	行	表	記 載		変更前	変更後	備考
IV-88	-	IV -5-10	3/28	-	共用プール温度 53°C	34°C	15 条 183 報
IV-91	-	IV -5-11	-	-	検出核種 (半減期), ヨウ素 131 (約 8 日), 3 号機, タービン建屋地下階, H23. 3. 24, 6. 6×10 ⁵	1. 2×10 ⁵	誤記訂正
IV-91	-	IV -5-11	-	-	検出核種 (半減期), ヨウ素 131 (約 8 日), 4 号機, タービン建屋地下階, H23. 3. 24, 4. 3×10 ³	3. 6×10 ²	誤記訂正
IV-91	-	IV -5-11	-	-	検出核種 (半減期), セシウム 134 (約 2 年), 3 号機, タービン建屋地下階, H23. 3. 24, 1. 5×10 ⁶	1. 8×10 ⁵	誤記訂正
IV-91	-	IV -5-11	-	-	検出核種 (半減期), セシウム 134 (約 2 年), 4 号機, タービン建屋地下階, H23. 3. 24, 7. 8×10 ³	3. 1×10 ¹	誤記訂正
IV-91	-	IV -5-11	-	-	検出核種 (半減期), セシウム 137 (約 30 年), 3 号機, タービン建屋地下階, H23. 3. 24, 1. 6×10 ⁶	1. 8×10 ⁵	誤記訂正
IV-91	-	IV -5-11	-	-	検出核種 (半減期), セシウム 137 (約 30 年), 4 号機, タービン建屋地下階, H23. 3. 24, 8. 1×10 ³	3. 2×10 ¹	誤記訂正
IV-95	-	IV -5-12	3/12	9:43	格納容器 (PCV) ベント準備開始	10:21	参考 (3)
概要 p. 12	27	-	-	-	同日 15 時 40 分に津波により・・・	15 時 36 分	参考 (2)
概要 p. 39					1F5 号機の炉型が 1F6 と同じく「BWR5」	BWR5	BWR4

IAEA報告書の記載内容の変更前後表

参考

- (1) 東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所プラントデータについて (平成 23 年 5 月 16 日)
- (2) 東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び自己記録の分析と影響評価について (平成 23 年 5 月 23 日)
- (3) 福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所における対応状況について資料一覧 (平成 23 年 8 月 10 日)

「IAEA閣僚会議に対する日本国政府の報告書」レビュー結果

V. 原子力災害への対応

記載箇所	誤	正
V-33 頁 ④ a	なお、政府全体の体制（上記 1.(2)③ a 参照）に基づき・・・	なお、政府全体の体制（上記 1.(2)② a 参照）に基づき・・・
V-35 頁 2～3 行目	上記 1.(2)③ b のような制約により・・・	上記 1.(2)② b のような制約により・・・

以上



Re: 【追加の御依頼】Re: IAEA6月報告書の精査につきまして

宛先: [REDACTED]

2011/08/29 16:02

Cc: [REDACTED]

原子力安全・保安院
国際室
木村様

お世話になっております。お問い合わせの件、以下の通り回答致します。コメントに間違いが有り申し訳ございませんでした。よろしくお願い致します。

東京電力 [REDACTED]

①Ⅳ-13ページの表Ⅳ-2-1でSRV吹き出し圧力(安全弁機能)の3号機の欄が空白なので、2号機と同じ値を入れて下さいとございますが、ここは本当にこれでよろしいでしょうか。
→設置許可には3号機に当該の数値が乗っておりませんが、保安規定には2,3号で設置許可とは違う値ですが両号機で同じ数字が載せられているのでコメントさせて頂きました。しかし、設置許可ベースで記載されると言うことならば、空欄のままでもかまわないかと思えます。

②備考欄に参考(3)とございますが、参考(3)は8月10日に発表した資料となっております。6月報告書は本年の5月31日時点という位置づけですが、大丈夫でしょうか

1) Ⅳ-84 11行

その後、15時40分には、津波の影響を受けて・・・

(誤) 15時40分

(正) 15時36分

→ IAEA報告書表Ⅳ-5-7にも15:36にDG2台トリップの記載有り。

報告徴収「分析と影響評価」(参考(2))

・頁1F-6-15 「15:36 HPCS, 6AD/Gトリップ」

上記より、15:36が正しいと思っています。

2)

2F1のベント準備開始時刻

Ⅳ-5-12

3/12 9:43

格納容器(PCV)ベント準備開始

(誤) 9:43

(正) 10:21

2F1の「ベント準備開始時刻」ですが、これまでの公開資料上では9:43は出てきませんが、担当が持っている時系列には、

9:43 ベント準備開始

10:21 ベント準備開始

が両方記載されています。

察するに、9:43は、準備開始の指示がだされた時刻。後者は、現場でいよいよ準備を開始した時刻かも知れません。いずれにしても、どのような経緯なのかIAEA報告書上の9:43ベント準備開始は間違っていないようです(これまでの公開資料には出てきていませんが、誰かがコメントしてそのように記載されたものと思えます)

したがって、このまま変更なしとし、コメントを取り下げようと思えます。

③ 頂いた修正案のうち表Ⅳ-5-6,7のタイラインについて、院内から下記の指摘が出ております。修正案では、1/2号から5/6号への変更となっておりますが、問題ないか御確認頂けませんか。

→ 当社HPの「「東北地方太平洋沖地震による影響などについて」実績ファイル」(<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/past-progress/index-j.html>)に、平成23年3月11日~7月31日の実績(最終更新日時:平成23年8月19日午前9時)があり、この中の1,2号機の欄に以下の記載があります(5号機にも似たような記載があります)。

「1,2号機の高圧電源盤と、5,6号機の高圧電源盤を連系させる作業にともない、事前に原子炉注水ポンプの電源について、仮設のディーゼル発電機への切り替えを実施し、4月25日午前10時57分終了。午後6時25分に系統電源へ復旧」

・また、公開資料ではないですが、第26回特別プロジェクト(国も参加していると思えます)の資料の中に「福島第一 外部電源増強(1/2号~5/6号連携)工事の実施について」という資料があり、4/22から4/25にかけて、仮設1/2号M/Cと6号M/Cの母線連絡による東電原子力線

と夜ノ森線停電防止の電源強化を目的に工事を予定しています。
→以上より、コメントを取り下げようと思います。申し訳ありませんでした。

On Mon, 29 Aug 2011 13:45:44 +0900

wrote:

> 東京電力
> 様 ← 保安院国際室木村

> 度々、恐れ入ります。
> 頂いた修正案のうち表IV-5-6、7のタイラインについて、院内から下記の指摘が
> 出ております。
> 修正案では、1/2号から5/6号への変更となっておりますが、問題ないか御
> 確認頂けません
> でしょうか。
> 重ねてお願い申し上げます。
> 表IV-5-6、7のタイラインについて
> 5月16日に報告を受けた内容では確かに5・6号機のタイライン設置は5/6
> 号母線と記載されておりますが、
> 他方、5・6号機のタイラインというからには、5/6号母線とは違う母線に設
> 置する必要があるかと思えます。
> (5/6号母線とラインを繋ぐのであれば、タイラインを設置とはいわない。)

東京電力 原子力・立地業務部

TEL (直通)
保安

編纂 p.12	27行目	同日15時40分に津波により...	同日15時38分に津波により...	東電	東京電力報告・発表内容と照合の 結果、より正確な時刻に修正	※何故ミスが生じたのか、チェック 体制はどのようになっているのか を記載して下さい。
編纂 p.39	上表	(表中の5号機の原子炉型式)「BWR5」	(表中の5号機の原子炉型式)「BWR4」	東電	福島第一5号機はBWR4であるこ とから修正	
Ⅲ-2	注釈	・震源過程: 震源における理論的な波球モデル を仮定した上で、観測地震動の時刻歴波形 データを用いて、図1-11に整合するように、断 層面上における各位の正しい震源位置を 決定するプロセス。	・震源過程: 断層面上の破壊伝播過程、一般的 に、subfaultで生じた波から合成された理論波形と 観測波形との違いを最小化する逆形インバーシ ョンから推定する。	耐震室	※英語文に合わせて修正と以前 に御連絡頂きましたが、記載内容 が変更となった経緯を出来るだけ 簡潔に、かつ分かり易く修正理由 を記載頂ければと思います。	
Ⅲ-5	3行目	4月7日23時32分に宮城県沖(深さ約40km、 M2.0)	4月7日23時32分に宮城県沖(深さ約40km、M2.1)	耐震室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な 理由ではなく、出来るだけ簡潔 に、かつ分かり易く修正理由を記 載頂ければと思います。	
Ⅲ-6	10行目	井戸沢断層付近において、4月11日に地震 (M2.1)が発生した。	井戸沢断層付近において、4月11日に地震(M2.0) が発生した。	耐震室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な 理由ではなく、出来るだけ簡潔 に、かつ分かり易く修正理由を記 載頂ければと思います。	
Ⅲ-8	12行目	(防災科学技術研究所5月19日現在)	(防災科学技術研究所5月19日現在)	耐震室		
Ⅲ-8	16行目	全死亡者・行方不明者は、24,769名	全死亡者・行方不明者は、23,769名	耐震室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な 理由ではなく、出来るだけ簡潔 に、かつ分かり易く修正理由を記 載頂ければと思います。	
Ⅲ-8	23行目	押し・引き波	押し波・引き波	耐震室		
Ⅲ-9	15行目	(読売新聞社、4月3日記事)	削除	耐震室		
Ⅲ-9	18行目	(読売新聞社、3月30日記事)	(読売新聞社、4月3日記事)	耐震室		
Ⅲ-9	19行目	太田部地区	太田各都地区	耐震室		
Ⅲ-20	図Ⅲ-1-13	(右図)M2.1	(右図)M2.0	耐震室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な 理由ではなく、出来るだけ簡潔 に、かつ分かり易く修正理由を記 載頂ければと思います。	
Ⅲ-26	図Ⅲ-1-17	(右図、キャプション)太田部地区	(右図、キャプション)太田各都地区	耐震室		※何故ミスが生じたのか、チェック 体制はどのようになっているのか を記載して下さい。

III-27	最終行		2号機、3号機及び5号機の原子炉建屋基礎版上の観測記録の応答スペクトルと基準地震動Sを原子炉建屋基礎版に入力した場合の基礎版の応答スペクトルとの比較図を図III-2-2(b)に示す。	4号機、3号機及び5号機の原子炉建屋基礎版上の観測記録の応答スペクトルと基準地震動Sを入力して算出した建屋基礎版の応答スペクトルとの比較図を図III-2-2(b)に示す。	耐震室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。
III-29	4行目		…専門家は東京電力より公開された津波の防波堤(10m)の潮流状況の写真に基づき、10m以上と推定している。	…専門家は東京電力より公開された津波の防波堤(10m)の潮流状況の写真に基づき、10m以上と推定している。したがって、海水ポンプ位置での流速量は10m以上と考えられる。	耐震室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。
III-48	8行目		JEAG4881-2008	JEAG4801-2008	耐震室	
III-49	2行目		水平方向の最大加速度は、214Gal(南北方向)	水平方向の最大加速度は、225Gal(東西方向)	耐震室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。
III-49	7行目		活断層	活断層	耐震室	
III-57	図III-3-7		(下図の凡例中、一番下の)超過確率別応答スペクトル「年超過確率(10 ⁻⁵)」	(下図の凡例中、一番下の)超過確率別応答スペクトル「年超過確率(10 ⁻⁵)」	耐震室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。
IV-3	10行目		「原子炉」の位置	「原子炉施設の位置	防災課	
IV-3	18行目		発電用軽水型原子炉施設に「おける	発電用軽水型原子炉施設に関する	防災課	
IV-3	下から4行目		極めてまれにはあるが	極めてまれではあるが	防災課	
IV-4	3行目		極めてまれであるが	極めてまれではあるが	防災課	
IV-4	7行目		地震動が施設に	地震動の影響が施設に	防災課	
IV-10	注釈1行目		床面のシンクリート	床面のコンクリート	防災課	
IV-13	表IV-2-1		炉心スプレイス(OS)ポンプ吐出圧力[kg/cm ²]	炉心スプレイス(OS)系統設計圧力[kg/cm ²]	東電	設置許可申請書の記載に合わせて修正
IV-14	(最終行)④ 非常用DGの専用化	表IV-2-2	~2.4.5号機に~	~2.4.6号機に~	東電	非常用DGの専用化は1F5号ではなく1F6で実施したものであることから修正
IV-14	(最終行)④ 非常用DGの専用化	表IV-2-2	福島第二 1~4号機(BWR-5) Ω	福島第二 1~4号機(BWR-5) 二	東電	非常用DGの専用化は福島第二では実施していないことから修正
IV-14	表IV-2-2		1.①口循環ポンプトリップ(RPT)	1.①逆循環ポンプトリップ(RPT)	防災課	
IV-14	表IV-2-2		2.①改善注水手段	2.①改善注水手段	防災課	
IV-14	表IV-2-2		3.①D/Wクーラー	3.①D/Wクーラー	防災課	※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。

IV-14	表IV-2-2	4.①口源の融通	①重源の融通	防災課	
IV-29	表IV-3-1	(福島第二, 1号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態)1570体(うち新燃料200体)	(福島第二, 1号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態)1770体(うち新燃料200体)	東電	データ照合の結果、内数と外数の間違いを修正
IV-29	表IV-3-1	(福島第二, 2号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態)1638体(うち新燃料80体)	(福島第二, 2号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態)1718体(うち新燃料80体)	東電	データ照合の結果、内数と外数の間違いを修正
IV-29	表IV-3-1	(福島第二, 3号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態)1595体(うち新燃料184体)	(福島第二, 3号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態)1780体(うち新燃料184体)	東電	データ照合の結果、内数と外数の間違いを修正
IV-29	表IV-3-1	(福島第二, 4号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態)1672体(うち新燃料80体)	(福島第二, 4号機, 使用済燃料プール, 地震発生前の状態)1752体(うち新燃料80体)	東電	データ照合の結果、内数と外数の間違いを修正
IV-30	15行目	富岡選	富岡選	防災課	
IV-33	9行目	…、コンクリートポンプ車による海水放水が行われた。	…、コンクリートポンプ車による海水または放水の放水が行われた。	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正
IV-45	表IV-5-1 3/12 4:15	4:15	2:45	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正
IV-45	表IV-5-1 3/12 7:55	7:55	7:30	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正
IV-45	表IV-5-1 3/12 7:55	TAF=100から200mm(燃料減A)	TAF 0から200mm(燃料減A)	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正
IV-45	表IV-5-1 3/12 7:55	TAF=100から200mm(燃料減B)	TAF 0から200mm(燃料減B)	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正
IV-46	表IV-5-1 4/9	…04:10 原子炉圧力容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替(弁全開)	…04:10 原子炉圧力容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替(弁全開)	防災課	※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。
IV-46	表IV-5-1 5/5 16:36	送風機	送風機	東電	
IV-46	表IV-5-1 5/9 4:17	原子炉建屋の二重扉を全開放	原子炉建屋の二重扉を全開放	東電	
IV-53	30行目	約5時間後	約80時間後	防災課	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。

IV-58		表IV-5-2 3/12 0:30	RCIC停止中、...ドライウェル(D/W)圧力 40kPa(3月11日23時55分)	RCIC停止中、...ドライウェル(D/W)圧力40kPa (3月11日23時25分)	防災課		※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。
IV-58		表IV-5-2 3/13 3:00	3月12日0時30分現在40kPa	削除	東電		東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	
IV-58		表IV-5-2 3/14 19:54	海水注入開始(1台の消火ポンプ起動)	海水注入開始(1台の消火ポンプ起動)	東電			
IV-58		表IV-5-2 3/14 21:03	原子炉圧力低下	原子炉圧力	東電			
IV-58		表IV-5-2 3/14 21:20	3/14 21:20 以降、SRV駆動用空気圧や空気供給ラインの 電磁弁の駆動維持の問題によるSRV(遠がし 安全弁)の閉鎖と開操作がなされた様子	3/14 21:20 以降、SRV駆動用空気圧や空気供給ラインの電磁 弁の駆動維持の問題によるSRVの閉鎖と開操作 がなされた様子	東電		記録内容をより正確に表現	※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。
IV-58		表IV-5-2 3/15 15:25	0.119Pa	0.119MPa 25kPa	東電			
IV-58		表IV-5-2 3/29 15:30	15.30	16.30	東電		東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	
IV-58		表IV-5-2 3/30 17:05	17:05 消防ポンプによる使用済燃料プールへ の注水再開	削除	東電		東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	
IV-59		表IV-5-2 4/19 17:28	約50t	約4t	東電		東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	
IV-59		表IV-5-2	5月15日	5月14日	東電			
IV-63	8行目		新蓋置	新蓋置	防災課			
IV-63	31行目		直流を要する負荷	直流量を要する負荷	防災課			
IV-71		表IV-5-3 3/17 19:35	使用済燃料プールへの推進機の消防車による 放水開始	使用済燃料プールへの自衛隊の消防車による放 水開始	防災課			※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。
IV-71		表IV-5-3 3/17 20:09	使用済燃料プールへの推進機の消防車による 放水終了、約30t	使用済燃料プールへの自衛隊の消防車による放 水終了、約30t	防災課			
IV-72		表IV-5-3 5/8 14:10	60t	約60t	東電		報告書内の同様記載と平仄をあ わせた	※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。

※何故ミスが生じたのか、チェック
 体朝はどのようになつていたので
 を記載して下さい。

IV-73 -74 -75	図IV-5-4 図IV-5-5 図IV-5-6	新富田変電所	新富田変電所	図IV-5-7 V-5-8 V-5-9	東電		
IV-76	14行目	新富田変電所	新富田変電所	新富田変電所	防災課		
IV-79	表IV-5-5 3/20 18:30	18:30 自衛隊が使用済燃料プールへの放水開始	18:30 自衛隊が使用済燃料プールへの放水開始	18:30頃 自衛隊が使用済燃料プールへの放水開始	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、より正確な表現に修正	
IV-79	表IV-5-5 3/25 10:20	使用済燃料プールへの注水終了、約20t	使用済燃料プールへの注水終了、約20t	使用済燃料プールへの注水終了、約20t	東電		
IV-80	表IV-5-5 5/6 12:16	使用済燃料プール水位計測、温度測定	使用済燃料プール水位計測、温度測定	削除(同じ記載が2つあるため)	東電		
IV-80	表IV-5-5 5/7 11:00	温度計測	温度計測	水中撮影	東電		
IV-83	表IV-5-6 3/26 23:30	23:30	23:30	23:20	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	
IV-84	11行	その後、15時40分には、津波の影響を受け	その後、15時40分には、津波の影響を受け	その後、15時36分には、津波の影響を受けて...	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、より正確な時刻に修正	
IV-87	表IV-5-8	(前燃熱の単位が示されていない)	(前燃熱の単位が示されていない)	MW	東電		
IV-87	表IV-5-8	(5号機、前燃熱、事故発生時点(3/11))1.00	(5号機、前燃熱、事故発生時点(3/11))1.00	(5号機、前燃熱、事故発生時点(3/11))1.01	東電	「ターガ1.006」の最終桁を切り捨ててなく、四捨五入で修正	
IV-87	表IV-5-9	(3号機、採取日)4月28日	(3号機、採取日)4月28日	(3号機、採取日)5月8日	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	
IV-88	表IV-5-10 3/28	共用プール温度53℃	共用プール温度53℃	3.00 共用プール温度34℃	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	
IV-91	表IV-5-11	(抽出核種(半減期)、ヨウ素131(約8日)、3号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)1.5×10 ⁵	(抽出核種(半減期)、ヨウ素131(約8日)、3号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)1.2×10 ⁵	(抽出核種(半減期)、ヨウ素131(約8日)、3号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)1.2×10 ⁴	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	
IV-91	表IV-5-11	(抽出核種(半減期)、ヨウ素131(約8日)、4号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)3.3×10 ³	(抽出核種(半減期)、ヨウ素131(約8日)、4号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)3.3×10 ³	(抽出核種(半減期)、ヨウ素131(約8日)、4号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)3.0×10 ²	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	
IV-91	表IV-5-11	(抽出核種(半減期)、セシウム134(約2年)、3号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)1.5×10 ⁸	(抽出核種(半減期)、セシウム134(約2年)、3号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)1.5×10 ⁸	(抽出核種(半減期)、セシウム134(約2年)、3号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)1.8×10 ⁵	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	
IV-91	表IV-5-11	(抽出核種(半減期)、セシウム134(約2年)、4号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)7.8×10 ³	(抽出核種(半減期)、セシウム134(約2年)、4号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)7.8×10 ³	(抽出核種(半減期)、セシウム134(約2年)、4号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)3.1×10 ¹	東電	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	

※何故ミスが生じたのか、チェック
 体朝はどのようになつていたので
 を記載して下さい。

IV-91	表IV-5-11	(抽出核種(半減期)、セシウム137(約30年)3号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)1.6×10 ⁶	(抽出核種(半減期)、セシウム137(約30年)3号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)1.8×10 ⁶	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正
IV-91	表IV-5-11	(抽出核種(半減期)、セシウム137(約30年)4号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)1.1×10 ⁶	(抽出核種(半減期)、セシウム137(約30年)4号機、タービン建屋地下階、H23.3.24)1.2×10 ⁶	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正	東京電力報告・発表内容と照合の結果、間違いを修正
IV-118	2行目	発電用軽水型原子炉施設における	発電用軽水型原子炉施設に関する	防災課	防災課
IV-118	下から3行目	平成元年2月27日	平成元年2月27日	防災課	防災課
V-3	4行目	同行した保安院職員及び原子力安全委員会～	同行した保安院職員、文部科学省職員及び原子力安全委員会～	文科省	文科省
V-3	6行目	また、ほぼ同じ頃に、別途移動していた文部科学省職員も現場に到着した。	削除	文科省	文科省
V-17	5行目	4月26日に公表した。	4月26日に20km圏内の子一を含むて、公表した。	文科省	文科省
V-18	16行目	又は3600秒(サンプルによって異なる)	削除	文科省	文科省
V-18	32行目	1000秒又は3600秒	1000秒_2000秒又は3600秒	文科省	文科省
V-20	22行目	(e)航空機モニタリング(3月25日採取分より測定開始) 東京電力福島第一原子力発電所から放出される放射性物質の放出状況や広域における地表面への...	(e)航空機モニタリング(3月25日採取分より測定開始) 東京電力福島第一原子力発電所から放出される放射性物質の放出状況や広域における地表面への...	文科省	文科省
V-20	23行目	把握、	把握のため、	文科省	文科省
V-20	23行目	計画的避難区域等の設定の評価に資するこのなどのため	削除	文科省	文科省
V-20	24行目	文部科学省が	文部科学省は	文科省	文科省
V-20	25行目	地上に着陸した放射性物質を広範囲かつ迅速に測定した。	ヘリコプターを活用したモニタリングを実施した。	文科省	文科省
V-33	16行目	なお、政府全体の体制(上記1.(2)③a参照)に基づき...	なお、政府全体の体制(上記1.(2)②a参照)に基づき...	東電	東電
V-35	2行目	上記1.(2)③bのような制約により...	上記1.(2)②bのような制約により...	東電	東電
VI-4	2行目	海洋への放出量について	海洋への放出量について	1F室	1F室
X II-2	9行目	設計の差速地産物の加速度応答スペクトル	差速地産物Ssによる原子炉建屋基礎版の応答の加速度応答スペクトル	耐震室	耐震室

※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。

※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。

X II-2	14行目		福島原子力発電所を襲った津波については、設置許可上の設計およびその後の評価による想定高さを大幅に超える14～15mの規模であった。	原子力発電所を襲った津波は、高さ10mの波浪を越えており、設置許可上の設計およびその後の評価による想定高さを大幅に超えるものがあった。想定高さは14～15mに達した。	耐震室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。
X II-2	28行目		地震の想定については、省設置源の運動の取扱を考慮するとともに、外部電源の耐震性を強化する。	地震の想定については、省設置源の運動の従来からの取扱を再点検するとともに、外部電源の耐震性を強化する。	耐震室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。
添付IV-2 P2	12行目		約82万テラベクレル	約11万テラベクレル	防災課	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	
添付IV-2 P7	表5 Te131m		9.5×10^{13} , 5.4×10^{10} , 1.8×10^{12} , 9.7×10^{13}	2.2×10^{15} , 2.3×10^{15} , 4.5×10^{14} , 5.0×10^{15}	事故室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	
添付IV-2 P7	表5 Te132		7.4×10^{14} , 4.2×10^{11} , 1.4×10^{13} , 7.6×10^{14}	2.5×10^{16} , 5.7×10^{16} , 6.4×10^{15} , 8.8×10^{16}	事故室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	
添付IV-2 P7	表5 I132		4.5×10^{14} , 9.6×10^{11} , 1.8×10^{13} , 4.7×10^{14}	1.3×10^{13} , 6.7×10^8 , 3.7×10^{10} , 1.3×10^{13}	事故室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	
添付IV-2 P7	表5 I133		6.5×10^{14} , 1.4×10^{12} , 2.6×10^{13} , 6.8×10^{14}	1.2×10^{16} , 2.6×10^{16} , 4.2×10^{15} , 4.2×10^{16}	事故室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	※何故ミスが生じたのか、チェック体制はどのようになっているのかを記載して下さい。
添付IV-2 P7	表5 I135		6.1×10^{14} , 1.3×10^{12} , 2.4×10^{13} , 6.3×10^{14}	2.0×10^{15} , 7.4×10^{13} , 1.9×10^{14} , 2.3×10^{15}	事故室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	
添付IV-2 P7	表5 Sb129		1.8×10^{14} , 8.9×10^{10} , 3.0×10^{12} , 1.6×10^{14}	1.4×10^{14} , 5.8×10^{10} , 2.3×10^{12} , 1.4×10^{14}	事故室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	
添付IV-2 P7	表5 Mo99		8.1×10^7 , 1.0×10^4 , 6.7×10^8 , 8.8×10^7	2.6×10^8 , 1.2×10^8 , 2.9×10^8 , 6.7×10^8	事故室	※誤記載、計算ミス等の抽象的な理由ではなく、出来るだけ簡潔に、かつ分かり易く修正理由を記載頂ければと思います。	
添付IX-4 P7		(3月分の表が欠落)		添付IX-4P7の最初のページとして、3月分の表(別添)を挿入	外務省		



Re: 【至急確認の御依頼】IAEA6月報告書正誤表につきまして

宛先: [Redacted]

2011/08/31 17:58

原子力安全・保安院
木村様

お世話になっております。以下2点ご連絡致します。

①「IV-45の表IV-5-1中の「TAF-100から200mm
(燃料域B)」の修正につきまして、正しいか確認頂ければと思います。」

→今の修正で間違いなしのことです。

(燃料域A)はTAF0~200mmでハンチングしていたのに対し、(燃料域B)はTAFから200mmで安定であったため、今の修正になっています。

②IV-95のベントの開始時間については先日のメールでのご連絡で、コメントを取り下げる(ポツ)とご連絡したはずですが、それが修正されることになっております。
もう一度ご確認ください。

以上です。

東京電力 原子力・立地業務部
TEL [Redacted] (直通)
保安 [Redacted]

On Wed, 31 Aug 2011 14:28:18 +0900
[Redacted] wrote:

- >
- > 外務省
- > 鈴木様
- > 文部科学省
- > 久我様
- > 東京電力
- > [Redacted]様
- > 院内
- > 1F室 松尾様
- > 耐震室 杉原様、増田様
- > 防災課 北原様、中崎様、今村様
- > 事故室 照井様
- >
- > 【御参考】
- > 原子力安全委員会
- > 川崎様
- > 支援チーム
- > 加藤様
- > 農林水産省
- > 山本様
- > 院内
- > 広報課 門川様
- > 基盤課 山崎様、田尻様
- > 検査課 澤田様、土佐様
- > 保安院国際室木村
- >
- >

- > お世話になっております。
- > 皆様から頂いた修正を踏まえ、正誤表を作成しました(有り難うございまし
- > た)。
- > 基本的に頂いた内容をコピーしたたけですので、問題ないかと思いますが、記載
- > 漏れ等
- > ございましたら、ショートノータイスで恐れ入りますが、明日、9月1日(木)の
- > 10時までに
- > 御連絡下さい。

- > 恐縮ですが、よろしくお願いいたします。
- >
- > 追伸 東京電力 様
- > メールで相談させて頂きました通り、一部削除しております（正誤表で見え消し
- > となっております
- > ります）。御確認頂ければ幸いです。なお、IV-45の表IV-5-1中の「TAF-100から200mm
- > （燃料域B）」の修正につきまして、正しいか確認頂ければと思います。
- > よろしく申し上げます。
- >
- > (See attached file: 正誤表.xls) (See attached file: 正誤表別添.xlsx)



Re: 【速報】IF深井戸

宛先: [Redacted]

2011/04/14 16:22

Cc: [Redacted]

東京電力 [Redacted] 様

保安院廃規課の塚本です。お世話になっております。
 お忙しいところ早速資料を送っていただき、ありがとうございました。
 地下水を介して拡散したのではないという御意見は恐らく妥当であるように
 思えます。しかしながら、このお考えを補強するようなデータとともにお示し
 いただいたほうが、説得力があると存じます。
 できましたら、深井戸などの地下水試料の平常時の測定値とともにお示し
 いただければと存じます。データは震災直近のものである必要はなく、1年前
 でも、2年前のデータでもよろしいかと存じます。
 ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

塚本 斉 (Tsukamoto Hitoshi)
 経済産業省 原子力安全・保安院 放射性廃棄物規制課
 〒100-8986 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号
 TEL: [Redacted] (課室) (PHS: [Redacted])
 FAX: [Redacted]
 E-mail: [Redacted]

松本 悟

NISA 塚本さま

2011/04/14 14:21:28

送信元:

宛先:

Cc:

日付:

件名:

[Redacted]
 塚本様(NISA規制) [Redacted]
 [Redacted]課長様(土木耐震) [Redacted]
 2011/04/14 14:21
 【速報】IF深井戸

NISA 塚本さま

平素より大変お世話になっております。
 東京電力の [Redacted] です。
 先日はお忙しいところご指導頂きましてありがとうございます。
 今後ともご指導の程どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨日、ご質問ございました、深井戸の件について、現状を
 確認しましたので、取り急ぎその速報を下記のとおりご報告しま
 す。

深井戸は、敷地境界付近に複数（正確な数は確認中、10箇所
 程度）あり、通常時であれば、この深井戸から、主に防火用水と
 して地下水を汲み上げております。ただし、3.11震災後の現在は
 汲み上げは行っておりません。

また、深井戸の深さは、原子炉建屋の設置地盤でもある富岡
 層T3泥質部とその上位の富岡層砂岩との境界付近までで、
 3.11震災後、同地下水の一箇所ですり抜きを行い、微量な
 線量が確認されております。

前述のとおり、これら深井戸は、敷地境界、すなわち、原子炉
 建屋よりも山側（標高が高い）に位置しており、地下構造はほ
 ぼ一様に山側から海側に2～3度程度傾斜しているため、私
 見ではありますが、地下水を介して拡散したのではなく、原子
 炉建屋などから大気中に放出された放射物質による可能性が
 高いものと推察しております。

今後、地下水STの活動の中で、これら要因などについても検
 討したいと考えております。

ご参考までに、4/8付けのプレス資料を添付しておきます。



Re: 渡辺先生の件

宛先: [REDACTED]

Cc: [REDACTED]

2011/08/19 17:00

NISA放射性廃棄物規制課 塩崎課長さま

今ほど渡辺先生の秘書から電話連絡がありました。
先月の説明で、先方様の機会の「魔法」をいきなり実証するのは困難であることは理解して頂いたようですが、本日の電話は

- ・非放射性物質を使ったコールドテストを東電持ちで実施してもらえないか？
と
- ・渡辺先生に会って欲しい

の2点でした。

保安院殿にも相談するとおっしゃってありました。

経営層とも相談しますが、これから賠償支援機構殿に事業計画を説明して認可を受けた後に資金援助を受ける者として、使える見込みの薄い機器・企業に不自然な形で関与するのは説明が付かないと個人的には感じております。

東京電力(株)原子燃料サイクル部

(廃棄物総括)

部長 [REDACTED]

電話 [REDACTED]

FAX [REDACTED]

E-Mail [REDACTED]



Re: 処分場の見通しと廃止措置計画認可申請について

2011/11/30 11:21

宛先: [redacted]
Cc: [redacted]

原子力安全・保安院 澁谷様

いつもお世話になっております。

お問い合わせいただきました件、所管に確認致しました。

ご指摘の通り、原電東海、中部浜岡の先例を踏まえても、処分場の見通しがなければ廃止措置計画認可申請の手続きは実施できないとの整理で問題かと存じます。

宜しくお願い致します。

以上

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部サイクル企画G
副長
tel: [redacted]
fax: [redacted]
e-mail: [redacted]

----- Original Message -----

From: [redacted]
To: [redacted]
Cc: [redacted]

Sent: Wednesday, November 30, 2011 11:08 AM
Subject: 処分場の見通しと廃止措置計画認可申請について

> 東京電力 [redacted]様

> お世話になっております。
> 昨日はご苦労様でした。

> 廃止措置に向けたスケジュールで計画書、添付資料2で確認させてください。

- > ・HP4-2 解体廃棄物処分場の見通し
- > ・HP5-4 廃棄体製造設備の設置及び処分場の見通し

> とありますが、「処分場の見通し」が得られない場合は廃止措置段階に入らない
> (規制上の行為としては、廃止措置計画認可申請を行わない) という整理でよろし
> いでしょうか。

> お忙しいところ大変恐縮ですが、よろしくお願いたします。

> 経済産業省 原子力安全・保安院
> 放射性廃棄物規制課
> 澁谷 朝紀 (しぶたに ともし)
> 〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1
> Tel. ; [redacted]
> Fax. ; [redacted]
> e-mail; [redacted]
> *****

FAX 発信票

送信日時: 4月14日 17時10分

枚数: 1 枚 (本票含まず)

宛先: 内閣室

原田 参事官補佐 様

件名: 生活ゴミの処理について

MEMO

大変お世話になっております。

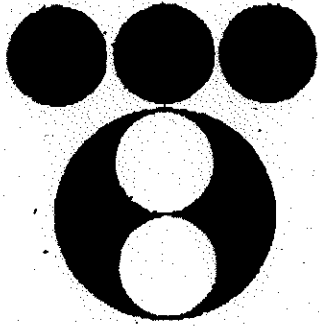
ご指導賜りまっております。

よろしくお願いいたします。

東京電力株式会社 原子力運営管理部

運転計画グループ
放射線管理

担当 [REDACTED]



TEL: [REDACTED] (外線); [REDACTED] (内線)

FAX: [REDACTED] (外線); [REDACTED] (内線)

ERC 放射線班 伊根様 ←リイン高松
 先ほど、お電話にて件で、ご対応について
 関係する省庁を教えてください。
 また、ERCとして関係するものは何か?を教えてください
 いたればと思います。

平成 23 年 4 月 〇 日
 保安班

Jビレッジおよび原子力発電所におけるゴミの管理方法と廃棄方法について (案)

Jビレッジおよび福島第一・第二原子力発電所にて発生するゴミには、放射性物質により汚染されたおそれのあるゴミ (放射性廃棄物^{※1}) と復旧作業とは別に発生する生活ゴミ^{※2} (放射性廃棄物以外) があるが、これらについて管理方法を以下のように定める。

1. 管理・処理方法

現状、Jビレッジならびに福島第一・第二原子力発電所では、放射性廃棄物と放射性廃物以外を識別したうえで分別管理を行っている。今後も分別管理を徹底し、放射性廃棄物と放射性廃棄物以外が混在しないよう識別管理を実施し、適切に処理を行う。なお、福島第一原子力発電所における放射性廃物以外の処理については、別途定める。

2. 廃棄方法

(1) Jビレッジ

- 放射性廃棄物は、当面雨天練習場にて保管管理する。
- 放射性廃棄物以外は、輸送手段などの諸条件が整った後に、汚染検査を行い、人や車両と同様にスクリーニング基準値^{※3}未済であることを確認したうえで、20km 圏内外への運搬及び処分を行う。なお、スクリーニング基準値を超える汚染が確認された場合には、放射性廃棄物として当面は雨天練習場へ移動させ保管管理する。

(2) 福島第一・第二原子力発電所

- 放射性廃棄物は、当面重要免脱棟内にて保管管理する。
- 放射性廃棄物以外は、輸送手段などの諸条件が整った後に、汚染検査を行い、人や車両と同様にスクリーニング基準値未済であることを確認したうえで、20km 圏内外への運搬及び処分を行う。なお、スクリーニング基準値を超える汚染が確認された場合には、放射性廃棄物として識別をしたうえで保管管理する。

以上

※1 放射性廃棄物の例

- ✓ 福島第一原子力発電所、及び福島第二原子力発電所内での作業時に着用したタイベック、靴カバー、ゴム手袋などの保護衣、保護具。
- ✓ Jビレッジでの人及び車両の除染作業時に着用したタイベック、靴カバー、ゴム手袋などの保護衣、保護具及びウエスなどの除染具。

※2 生活ゴミの例

作業員の食事などで発生する容器、ペットボトルなど

※3 100,000opm

原子力安全委員会ほかにて定めたスクリーニング基準値



Fw: 御回答【機2】Jビレッジの汚染水の扱い
宛先: [REDACTED]

2011/06/24 19:23

武山様、佐藤様 ← 島田

東京電力のJビレッジ除染水応答要領です。

※ 情報管理の徹底のため、件名に機密性の区分を付しています。
////////////////////////////////////

経済産業省原子力安全・保安院
放射性廃棄物規制課

島田 太郎

〒100-8986 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号

TEL: [REDACTED] (課室) (PHS: [REDACTED])

FAX: [REDACTED]

E-mail: [REDACTED]

----- 転送者: [REDACTED] 転送日: 2011/06/24 19:19 -----

送信元: [REDACTED]
宛先: [REDACTED]
Cc: [REDACTED]
日付: 2011/06/24 10:35
件名: 御回答【機2】Jビレッジの汚染水の扱い

原子力安全・保安院 核燃料管理規制課

児嶋課長殿

大変、お世話になっております。

ご質問の件、児嶋課長殿のご理解通りで御座います。

宜しく御対応のほど、お願い申し上げます。

以上

On Fri, 24 Jun 2011 10:00:58 +0900
[REDACTED] wrote:

> [REDACTED]様、[REDACTED]様

> 昨日はありがとうございました。
> また広報課から聞かれていますので、「Jビレッジの水は現時点でまだ貯めて
> いるだけで、その浄化方法は検討中」という理解で正しいですか？

=====
> 児嶋 秀平
> 原子力安全・保安院 核燃料管理規制課長
> Email: [REDACTED]
> 携帯: [REDACTED]
> Tel: [REDACTED] Fax: [REDACTED]
=====

送信元: [REDACTED]

[Redacted]

宛先:

[Redacted]

Cc:

[Redacted]

日付:

2011/06/23 13:37

件名:

【Re: 【機2】 Jピレッジの汚染水の扱い

原子力安全・保安院
核燃料管理規制課 児嶋課長殿

いつもお世話になっております。

お問合せいただきました下段の件についてご報告いたします。

- > 2. 「保安院をはじめとする関係省庁と協議」で、保安院の誰またはどの課と協議されましたか？
- > ⇒保安院リエゾンの真先（マサキ）様に同席いただいております。
- > 大変申し訳ございませんが、真先様のご所属については把握できておりませんことをご容赦下さい。

=====

東京電力株式会社
原子力運営管理部 放射線管理グループ

〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3
電話番号: [REDACTED]
FAX番号: [REDACTED]
電子メール: [REDACTED]

=====
Original Message

From: [REDACTED]
To: [REDACTED]
Cc: [REDACTED]
Sent: Thursday, June 23, 2011 10:47 AM
Subject: Re: 【機2】 Jピレッジの汚染水の扱い

[REDACTED]様

詳細なQAをありがとうございました。とても助かりました。

広報課から聞かれているのでご教示ください。

1. 「自治体で示されている基準」とはなんですか？原安委助言の排水基準ですか？
2. 「保安院をはじめとする関係省庁と協議」で、保安院の誰またはどの課と協議されましたか？

=====
児嶋秀平
原子力安全・保安院 核燃料管理規制課長
Email: [REDACTED]
携帯: [REDACTED]
Tel: [REDACTED] Fax: [REDACTED]
=====

送信元:

宛先:

東京電力・[REDACTED]様 [REDACTED], NISA_児嶋 秀平

様

日付:

2011/06/22 21:41

件名:

Re: 【機2】 Jヴィレッジの汚染水の扱い

原子力安全・保安院
核燃料管理規制課 児嶋課長殿

いつもお世話になっております。

Jヴィレッジの汚染水について、マスコミには下段のようなQA対応を行っております。

児嶋課長殿よりお問い合わせ頂いた内容に対して的を射た内容となっていないようであればお申し付けくださいますよう、お願い申し上げます。

Q: 福島第一からJヴィレッジに戻ってきた車の除染作業に使用した水はどのように処理しているのか。

A: 自治体で示されている基準に照らすと一般排水として扱えるものであるが、金属製のタンクに保管している。タンクで受けた除染廃水は、放射性物質を除去することとしており、放射性物質を除去した水は除染水として再利用することを計画している。

Q: 自治体で示されている基準に照らすと一般排水として扱うものとしているとのことだが、福島第一原子力発電所構内に入りし車両でも自治体の基準によった運用で問題ないことを県や保安院に確認しているのか。

A: この度の事故復旧作業では、車両除染が問題となることが当初より想定されたため、首相官邸、自治体および保安院をはじめとする関係省庁と協議のうえ場所と規模を設定し、運用している。

>> Q: タンクの材質は、放射性物質を含む廃液を入れるのに問題はないのか。
>> またタンクは屋内に設置されているのか。屋外なのか。
>> A: 除染には通常の水を用いており、これを保管するタンクには、建設工事等で
>> 使用する炭素鋼材の水槽を用いている。このため、除染廃液の保管にあたり
>> 問題は無い。なお、タンクは屋外に設置している。

>> Q: 現在、その保管している水の量はどのくらいか。また、線量などはどうか。
>> A: 現在(6/17)約210m³の除染廃液を回収しており、今後再利用または約800m³
>> のタンクで保管することとしている。線量は、バックグラウンドとほぼ同値で
>> タンク表面で1μSv/h程度。

>> Q: 除染作業で使用した水はどのような方法で回収しているのか。
>> 全て回収できるのか。
>> A: 除染場は疎水性のアスファルトにて傾斜を設けて舗装しており、除染作業で
>> 発生した廃水は、側溝に流れ込む仕組みとなっている。
>> これを貯めてポンプで回収するようにしている。

>> Q: 福島第一からJヴィレッジに戻ってきた作業員の防護服やマスクはどのよう
>> に
>> 処理しているのか。その量は現在どのくらいか。
>> A: Jヴィレッジにて保管している。
>> 保管後の処理方法については、今後検討していく。
>> 量は約1,560m³(6/17現在)保管している。

>> Q: 除染作業で使用した水や防護服などは低レベル放射性物質として
>> 管理しているのか。
>> A: 水については自治体で示されている基準に照らすと一般排水として扱える
>> ものだが、金属性のタンクに回収保管を行なっている。
>> また、防護服などについては、国や規制当局においてその取り扱いが
>> 定まっていないことから、全て低レベル放射線物質と同等に扱っている。

>> Q: 放射性管理区域ではないJヴィレッジにおいて、放射性物質を含む廃液を管理
>> し
>> たり
>> 放射性物質を取り除く作業をすることについてどのように考えているのか。
>> A: Jヴィレッジで扱っている廃液等は、自治体で示されている基準に照らすと
>> 一般排水
>> として扱えるものであるが、震災により水源も厳しいことから再利用するこ
>> と
>> を計画
>> しているものである。
>> また、この度の事故復旧作業では、人体および車両除染が問題となることが
>> 当初より想定されたため、首相官邸、自治体および保安院をはじめとする関
>> 係
>> 省庁と
>> 協議のうえ場所と規模を設定し、運用しているものである。

>> Q: 放射性物質を含む廃液や資材を管理していることについて、作業員にそれら
>> を
>> ちゃんと周知しているのか。
>> A: 廃液、資材を扱う作業員にはきちんと説明している。
>> 廃液はタンクに貯蔵し、その線量率はバックグラウンド同程度である。ま
>> た、直
>> 接廃液
>> には触れられないこと、また資材等は決められた集積場所に集めており、関
>> 係
>> 者以外の
>> 者がみだりに近づく可能性は低いことから、現在のところJヴィレッジを訪
>> れ
>> る
>> 作業員全員に対して周知はしていない。

=====

東京電力株式会社
原子力運営管理部 放射線管理グループ
[Redacted]

>> 〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3
>> 電話番号: [REDACTED]
>> FAX番号: [REDACTED]
>> 電子メール: [REDACTED]

=====
----- Original Message -----

>> From: [REDACTED]
>> To: [REDACTED]
>> Sent: Wednesday, June 22, 2011 1:45 PM
>> Subject: 【機2】 Jピレッジの汚染水の扱い

>> 東京電力 [REDACTED] 様、 [REDACTED] 様

>> 保安院児嶋です。
>> Jピレッジの汚染水（と物）の処理の現状と今後の方針について、マスコミへ
>> の
>> 答えぶりを教えてください。
>> 背景は下記メールをご参照ください。

=====
>> 児嶋秀平
>> 原子力安全・保安院 核燃料管理規制課長
>> Email: [REDACTED]
>> 携帯: [REDACTED]
>> Tel: [REDACTED] Fax: [REDACTED]
=====

>> 児嶋課長殿

>> お疲れ様です。
>> さて、西山審議官がぶら下がりでとわれましたが、Jピレッジの汚染水や汚染さ
>> れ
>> た

>> ものの処理はどのように行うこととなっているのでしょうか。
>> 答えられる範囲でお教えいただけますと幸いです。

>> 渡邊@ERC広報

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部

東京電力放射線管理G 様

ご多忙中恐れ入ります。
原子力安全・保安院放射性廃棄物規制課の武山と申します。
急なお願いで大変申し訳ありませんが、次の事項について、ご教示いただけないで
しょうか。

・Jヴィレッジにおけるタイベック、マスク等（福島第一原発で使用した物も含
む）の管理状況及びお考えの処理・処分方策

・福島第一原発の生活廃棄物の管理状況及びお考えの処理・処分方策

武山 松次 (TAKEYAMA, Shoji)
経済産業省 原子力安全・保安院
放射性廃棄物規制課 企画班長

〒100-8986 東京都千代田区霞が関1-3-1

Tel: (PHS番号:)

Fax:

E-mail:



Fwd: RE: 【確認】例の熱分解装置

宛先: [Redacted]

Cc: [Redacted]

2011/07/27 14:53

武山班長、島田さん
(c.c. 佐藤係長)

お疲れさまです。

以下のメールの件、院長のご意向も踏まえ、前向きに対応することを基本として、規制上の取扱いはどうあるべきか、核管課とご相談いただければ幸いです。小職の理解では、6月3日の原安委決定の2.に基づき対応するのではないかと考えていますが、宜しくご検討いただけるようお願いいたします。

明日午後の打合せの機会に打返しができるかと考えています。

----- Original Message -----

件名: RE: 【確認】例の熱分解装置

送信日時: 2011年07月27日(水) 09:56:25

送信者: [Redacted]

宛先: 中津 健之 [Redacted]

> 中津課長さま

> かくいう不毛な件でお互い時間の無駄なのですが、一つ確認させてください。

> 外運搬に関しまして受取人に関する法令上の規制は無いのでしょうか？

> 輸送部門とも相談しましたが、受取人は原子力事業者、RI使用者以外は想定して

> いないので規定は無いように思えます。先方が受け取れるか否かは別として、

> 発送者責任の下で外運搬や原賠措置など必要な繞きを当社が淡々と申請した場合、

> 昨日いただいたメールのように試験使用のため？の超法規的措置として判断される

> 可能性もある と理解してよろしいのでしょうか？

> 本件ではなく、1F廃棄物や余裕震度・次期型ピット施設のための埋設事業規制の

> 見直し等、お話ししたい案件は山積しておりますので、早々に切り上げたいと思

> っております。

On Tue, 26 Jul 2011 20:56:40 +0900

中津 健之 [Redacted] wrote:

> [Redacted] 部長 殿

> ご連絡、ありがとうございます。
> いろいろとお手数をお掛けして申し訳ありません。

> お尋ねの件、「現状の規制の枠組みでは認められないものである」と申し上げた

>> ことは一度もないように思いますし、御社から、いかなるものであっても

>> 「保安院の考え方」をお伝えいただくということは適当ではないように思います。

>> 改め て申し上げるまでもなく、保安院としてお伝えすべきことは当方から伝える

>> ことといたしますし、御社にて、検討にあたっての規制上の取扱いでご不明の点

>> などがあれば、当方あてお尋ねいただければ幸いです。

>> そもそも生活圏の土壌などが汚染されている現状そのものが、現行規制の想

定し
>> ている範囲を超えたものとの理解。その上で行われる実証試験を含む除染活
動
>> は、ICRPの原則に基づく一般論ではありますが、放射線防護の最適化を
図り
>> つつ、行為を正当化できる範囲で実施することが許容されるものと考えます。
現
>> 在農水省などで行われているヒマワリの播種による実証などはこの類のもの
と考
>> えています。

中津健之 (NAKATSU, Kenshi)
経済産業省 原子力安全・保安院
放射性廃棄物規制課長

-----Original Message-----

From: [redacted] [mailto:[redacted]]
Sent: Tuesday, July 26, 2011 8:08 PM
To: 中津 健之
Subject: 【確認】例の熱分解装置

中津課長さま

>> 一つ確認です。経営陣から言われておりますが、
>> 先方のご提案については、「現状の規制の枠組みでは認められないものであ
ると
>> 保安院殿も言っている」とはっきり伝えるように指示されました。
>> そう申し上げますよろしいですね！

>> その上で、前向きになっていただけるような提案をするように指示を受け
てま
>> す。

On Tue, 26 Jul 2011 16:16:51 +0900

中津 健之 [redacted] wrote:

>> [redacted] 部長 殿

>> ご連絡、ありがとうございました。
>> ご相談させていただいている件については、昨日の電話でのお話ではいろ
いろ
>> と
>> ご検討いただいている由。何卒宜しく願い申し上げます。

>> また、中長期チームの廃棄物関係についても、明後日午後の打合せを仮置
きさ
>> せ
>> いただいています。当方でもエネ庁廃対室の都合を確認しているところ
です
>> が、具体的な時間を調整・報告させていただきたいと思いますので、併せ
て宜
>> し
>> くお願いします。

中津健之 (NAKATSU, Kenshi)
経済産業省 原子力安全・保安院
放射性廃棄物規制課長

東京電力(株) 原子燃料サイクル部
(廃棄物総括)
部長 [redacted]
電話 [redacted]
FAX [redacted]

>> E-Mail [REDACTED]

東京電力(株)原子燃料サイクル部
(廃棄物総括)
部長 [REDACTED]
電話 [REDACTED]
FAX [REDACTED]
E-Mail [REDACTED]

中津健之 (NAKATSU, Kenshi)
経済産業省 原子力安全・保安院
放射性廃棄物規制課長



【開催案内】放射性廃棄物の処理ST

宛先: [Redacted]

2011/07/29 18:29

Cc: [Redacted]

『放射性廃棄物の処理サブチーム』メンバー各位

大変お世話になっております。
本サブチームの事務局を務めさせていただきます東電、[Redacted]です。

早速でございますが、下記の通りサブチーム会合を開催させていただきますので、ご参集のほど、よろしくお願いいたします。

日程：8月3日（水）10：00～12：00

場所：当社東新ビル704会議室

議題：今後の進め方等

#東新ビルの場所につきましては添付地図をご参考下さい。
(会議室は7階です)

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
東京電力株式会社
原子燃料サイクル部 廃棄物対策G

〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3

TEL: [Redacted]

FAX: [Redacted]

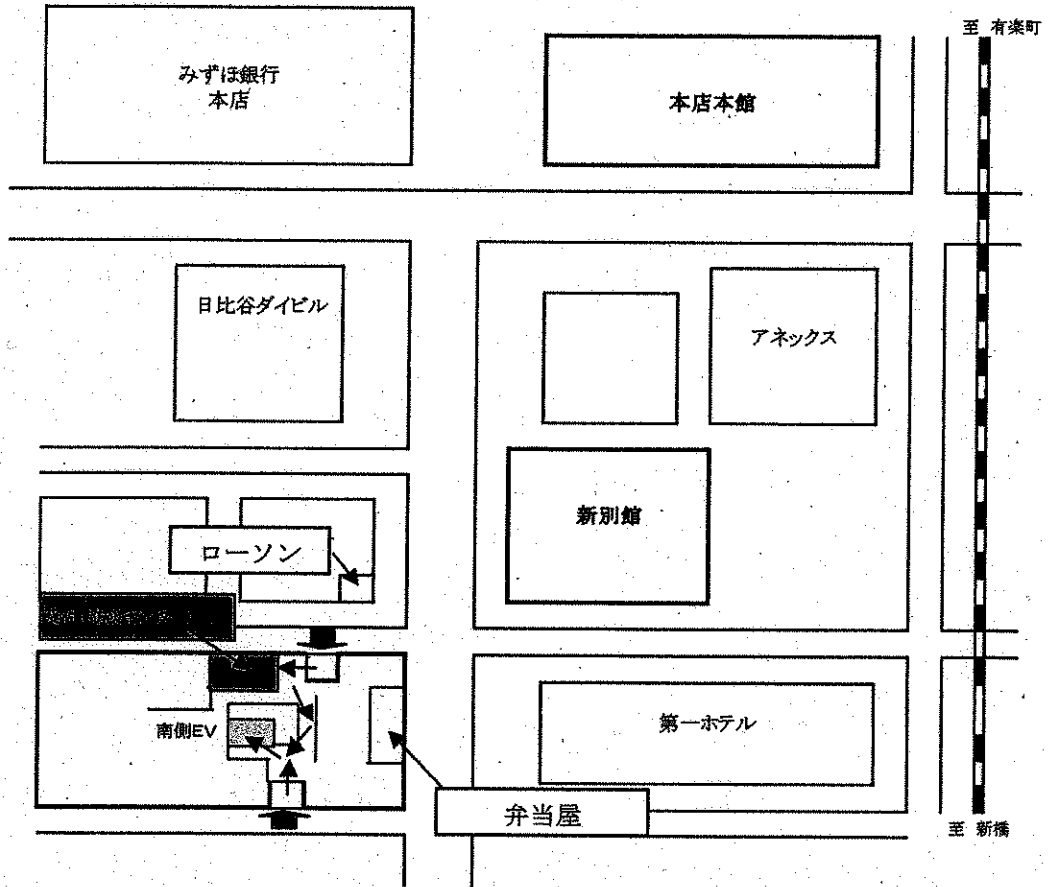
E-Mail: [Redacted]



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 東新ビル.pdf

東新ビル案内図

(所在地 港区新橋1-1-13)



(MISA) 須之内
(MISA) 榎本
(MISA) 島田
(NISA) 柳澤

中長期対策子ーム
第1回放射性廃棄物の処理サブ子ーム
平成23年8月3日
東新ビル704会議室
座席表

(JAEA) [Redacted]
(JAEA) [Redacted]
(JAEA) [Redacted]
田中
三原
松本
(METI) (METI) (METI)
(METI) (METI) (METI)

小野
富田 (METI)
南野 (METI)

[Redacted] TEPCO

(原
環
セ
ン
タ
ー)
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted] JNES

出入口



放射性廃棄物の処理サブチーム パンチリスト (平成28年8月3日)

No.	取るべきアクション	対応箇所	進捗状況	ステータス
110803-1	5日の事務局会合に検討工程(案)を示すこと。	東京電力		継続
110803-2	5日の事務局会合では、撤去物を中心とした廃棄物の管理状況を紹介することとするが、その前段で所内にとのような廃棄物があり、どのように管理されているのか、なにが判っていないのかといった全体像を示すこと。	東京電力		継続
110803-3	11日のSTに水処理廃棄物に関する検討状況を示すこと。水処理廃棄物に対してJAEAとして取り組める事項については事前に東電-JAEA間で相談。	東京電力 JAEA	JAEA-東電間の打合せを8日に実施する予定。	継続
110803-4	現場視察を計画する。	東京電力		継続



PW【第一回メモ+第二回開催案内】放射性廃棄物の処理ST

宛先: [Redacted]

2011/08/03 15:24

Cc: [Redacted]

『放射性廃棄物の処理サブチーム』メンバー各位
先ほどのメール添付ファイルのパスワードは
st0803
です。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部 廃棄物対策G
〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3
TEL: [Redacted]
FAX: [Redacted]
E-Mail: [Redacted]

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

Original Message

From: [Redacted]
To: [Redacted]
Cc: [Redacted]

Sent: Wednesday, August 03, 2011 3:23 PM
Subject: 【第一回メモ+第二回開催案内】放射性廃棄物の処理ST

> 『放射性廃棄物の処理サブチーム』メンバー各位
> 大変お世話になっております。東電、[Redacted]です。
> 今後のサブチームについて下記の通り実施致しますのでご参集のほどお願いいたします。

> 日程：8月3日(水) 10:00~12:00
> 場所：当社東新ビル704会議室
> 議題：水処理廃棄物に関する状況

> 合わせて本日の座席表および打合せ結果に基づくパンチリストをお送りします。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部 廃棄物対策G
〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3
TEL: [Redacted]
FAX: [Redacted]
E-Mail: [Redacted]

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

Original Message

From: [Redacted]
To: [Redacted]
Cc: [Redacted]

Sent: Friday, July 29, 2011 6:28 PM



【第三回開催案内】放射性廃棄物の処理ST

宛先: [Redacted]
Cc: [Redacted]

2011/08/12 18:09

『⑦放射性廃棄物の処理サブチーム』メンバー各位
大変お世話になっております。東電、[Redacted]です。
第三回のサブチームにつきまして下記の通り実施させていただきますので、
ご参集のほど、よろしくお願い申し上げます。

日程：8月25日（木）10：00～12：00
場所：当社東新ビル704会議室
議題：廃棄物の状況



東京電力株式会社
原子燃料サイクル部 廃棄物対策G

[Redacted]
〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3

TEL：[Redacted]

FAX：[Redacted]

E-Mail：[Redacted]



廃棄物STパンチリスト110811ST後.xls



【第四回開催案内】放射性廃棄物の処理ST

宛先:

2011/08/31 16:28

Cc:

『⑦放射性廃棄物の処理サブチーム』メンバー各位
大変お世話になっております。東電、[redacted]です。
第四回のサブチームにつきまして下記の通り実施させていただきますので、
ご参集のほど、よろしくお願い申し上げます。

日程：9月8日（木）10：00～12：00
場所：当社東新ビル704会議室
議題：廃棄物（水処理、瓦礫）の検討状況



東京電力株式会社
原子燃料サイクル部 廃棄物対策G

〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3

TEL :

FAX :

E-Mail :



廃棄物STパンチリスト110825ST後.xls.sve



Re: 1F中長期安全確保の措置に関すること

2011/09/13 15:56

宛先: [Redacted]
Bcc: [Redacted]

東京電力 [Redacted] 部長様

塩崎@廃規課 原子力安全・保安院です。
お世話になっています。ご返事が遅くなりました。

山形統括官と話をして、サブチームとの関係を整理しました。
山形統括のところでまとめて頂いている「中期的安全確保の考え方」は、安全規制当局としての安全確保のためのミニウム・リクワイアメントを作成しているとの位置づけです。
したがって、安全規制当局の考え方を、サブチームで検討、整理することはないとの整理です。

この「考え方」がいわゆる指針となりますので、中長期対策サブチームは、この指針を踏まえて、具体的な処置方策の検討を進めていくとの位置づけになります。

幸い、先日よりまとめて頂きました廃棄物の処理方針につきましては、この「考え方」に合致しているところも多く、「事業者から提出されるべき説明書」(「考え方」24ページ)に記載されています事項を先取りしてとりまとめているように思われます。一方で、「考え方」にまだ合致していないと思われるところもありますので、引き続き、具体的な処置方策について検討していくことになるものと考えます。

NISA塩崎課長さま

2011/09/13 11:23:08

送信元: [Redacted]
宛先: [Redacted]
日付: 2011/09/13 11:23
件名: 1F中長期安全確保の措置に関すること

NISA塩崎課長さま

東電: [Redacted] です。

10、11日といわき市内及び1Fで実施された山形統括管理官さま企画の意見聴取会
([Redacted] 大名誉教授以下参加)に同行し、瓦礫等の管理について説明してまいりました。

山形さまからは1F1～4号機に対する「中期的安全確保の考え方」(素案)が配布されました。安全審査課殿作成と思われませんが、9月末頃をめどにNISA殿から指示がでて、報告徴収とか今後の対応とかがあると伺いました。

別紙6の

「放射性物質に汚染されたガレキ等の管理に関する安全確保の要求事項」については、当方と塩崎さまの部署とで議論すべきものと認識しておりますが、よろしければ当方からお話を伺いに出向きたいと思っておりますので、ご指示など連絡下さい。

宜しくお願い致します。

東京電力(株)原子燃料サイクル部
(廃棄物総括)
部長 [Redacted]
電話 [Redacted]
FAX [Redacted]
E-Mail ishikawa.masumi@tepcoco.jp



Re: 1F中長期安全確保の措置に関すること

宛先: [REDACTED]

2011/09/13 20:03

Bcc: [REDACTED]

東京電力 [REDACTED] 部長様

塩崎@廃規課. 原子力安全・保安院です。
承知いたしました。

NISA塩崎課長さま

2011/09/13 19:48:27

送信元: [REDACTED]
宛先: [REDACTED]
日付: 2011/09/13 19:48
件名: Re: 1F中長期安全確保の措置に関すること

NISA塩崎課長さま

返信ありがとうございました。
中長期対策チームとの関連は理解致しました。
活動指針となり安全規制の考えについて、当方も確認したい点がございましてので
直接、安全審査課殿と打ち合わせをさせていただきます。

確認項目

- ・震災前に発生していた廃棄物の扱い
- ・個体廃棄物貯蔵施設の増設計画（保管容量の確保）

個体廃棄物貯蔵庫（3棟～8棟）やサイトバンカなどは震災後未点検で且つ電源復旧の
目処も立っておりませんし、廃樹脂などはプラント内部のタンクに保管されていますので
今後のアクセス・点検可能性についても確認しなければなりません。

土曜日に頂いた資料について規制要求としては極めてごもつともではありますが、ポスト
ステップ2の3年程度を念頭に達成レベルやタイムスケジュールと落としどころについて
確認したいと考えています。

On Tue, 13 Sep 2011 15:56:02 +0900

[REDACTED] wrote:

> 東京電力 [REDACTED] 部長様

> 塩崎@廃規課. 原子力安全・保安院です。
> お世話になっております。ご返事が遅くなりました。

> 山形統括官と話をし、サブチームとの関係を整理しました。
> 山形統括のところでまとめて頂いている「中期的安全確保の考え方」は、安全規制
> 当局としての安全確保のためのミニмум・リクワイアメントを作成しているとの位
> 置づけです。

> したがって、安全規制当局の考え方を、サブチームで検討、整理するというこ
> とはないとの整理です。

> この「考え方」がいわゆる指針となりますので、中長期対策サブチームは、この指
> 針を踏まえて、具体的な処置方策の検討を進めていくとの位置づけになります。

> 幸い、先日とりまとめて頂きました廃棄物の処理方針につきましては、この「考え
> 方」に合致しているところも多く、「事業者から提出されるべき説明書」（「考え
> 方」24ページ）

> に記載されています事項を先取りしてとりまとめているように思われます。一方
> で、「考え方」にまだ合致していないと思われるところもありますので、引き続
> き、具体的な処置

> 方策について検討していくことになるものと考えます。

送信元: [REDACTED]
宛先: [REDACTED]
日付: 2011/09/13 11:23
件名: 1F中長期安全確保の措置に関すること

NISA塩崎課長さま

東電: [REDACTED]です。
10月11日といわき市内及び1Fで実施された山形統括管理官さま企画の意見聴取会
([REDACTED] 大名誉教授以下参加)に同行し、瓦礫等の管理について説明してまいりました。

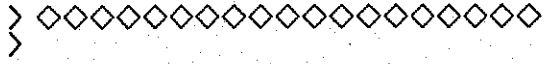
山形さまからは1F1~4号機に対する「中期的安全確保の考え方」(素案)が配布されました。安全審査課殿作成と思われませんが、9月末頃をめどにNISA殿から指示がでて、報告徴収とか今後の対応とかがあると伺いました。

別紙6の「放射性物質に汚染されたガレキ等の管理に関する安全確保の要求事項」については、当方と塩崎さまの部署とで議論すべきものと認識しておりますが、よろしければ当方からお話を伺いに出向きたいと思っておりますので、ご指示など連絡下さい。

宜しくお願い致します。

東京電力(株)原子燃料サイクル部
(廃棄物総括)
部長 [REDACTED]
電話 [REDACTED]
FAX [REDACTED]
E-Mail [REDACTED]

東京電力(株)原子燃料サイクル部
(廃棄物総括)
部長 [REDACTED]
電話 [REDACTED]
FAX [REDACTED]
E-Mail [REDACTED]



=====

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部 廃棄物対策グループ

〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3

TEL : ██████████ (直通)
FAX : ██████████
e-mail : ██████████

=====



行程・現場調査ルート案0916.pdf

放射性廃棄物の処理サブチーム 現場調査行程 (案)

(概要) 瓦礫・伐採木の調査を一時立入により実施

日時	内容	備考
現場調査前	特になし	
前日	移動 (上野～宿泊先 (いわき))	16:00発 スーパーひたち39号
AM	移動 (宿泊先～JV)	タクシー
	着替え	
	移動 (JV～1F)	マイクロバス
	現場調査 1時間 (車内から)	
当日	移動 (1F～JV)	マイクロバス
	昼食	
	移動 (JV～いわき)	タクシー
	移動 (いわき～上野)	15:08発 スーパーひたち46号

<持ち物>

写真付身分証 (運転免許証、旅券、写真付き住基カード、外国人登録証のいずれか一つ)

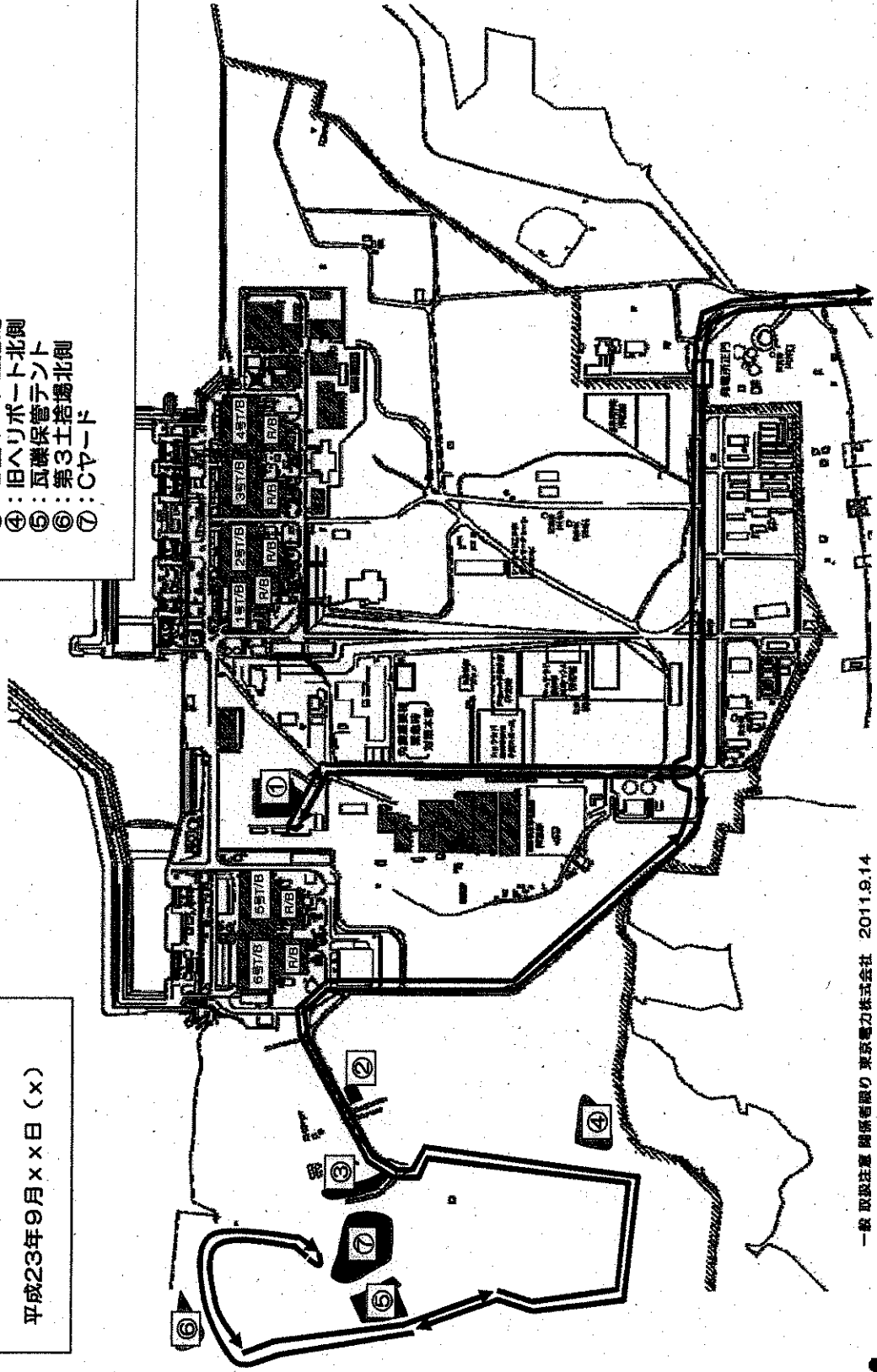
着替え (必要に依じ)

現場調査ルート案 (瓦礫・伐採木)

現場調査用ルート図 (案)
(瓦礫・伐採木中心)

平成23年9月x x日 (x)

- ①: 固体廃棄物貯蔵庫
- ②: ゲンボウヤード
- ③: 日立ヤード土捨場
- ④: 旧ヘリポート北側
- ⑤: 瓦礫保管テント
- ⑥: 第3土捨場北側
- ⑦: Cヤード



一社 取組注産 関係者限り 東京電力株式会社 2011.9.14

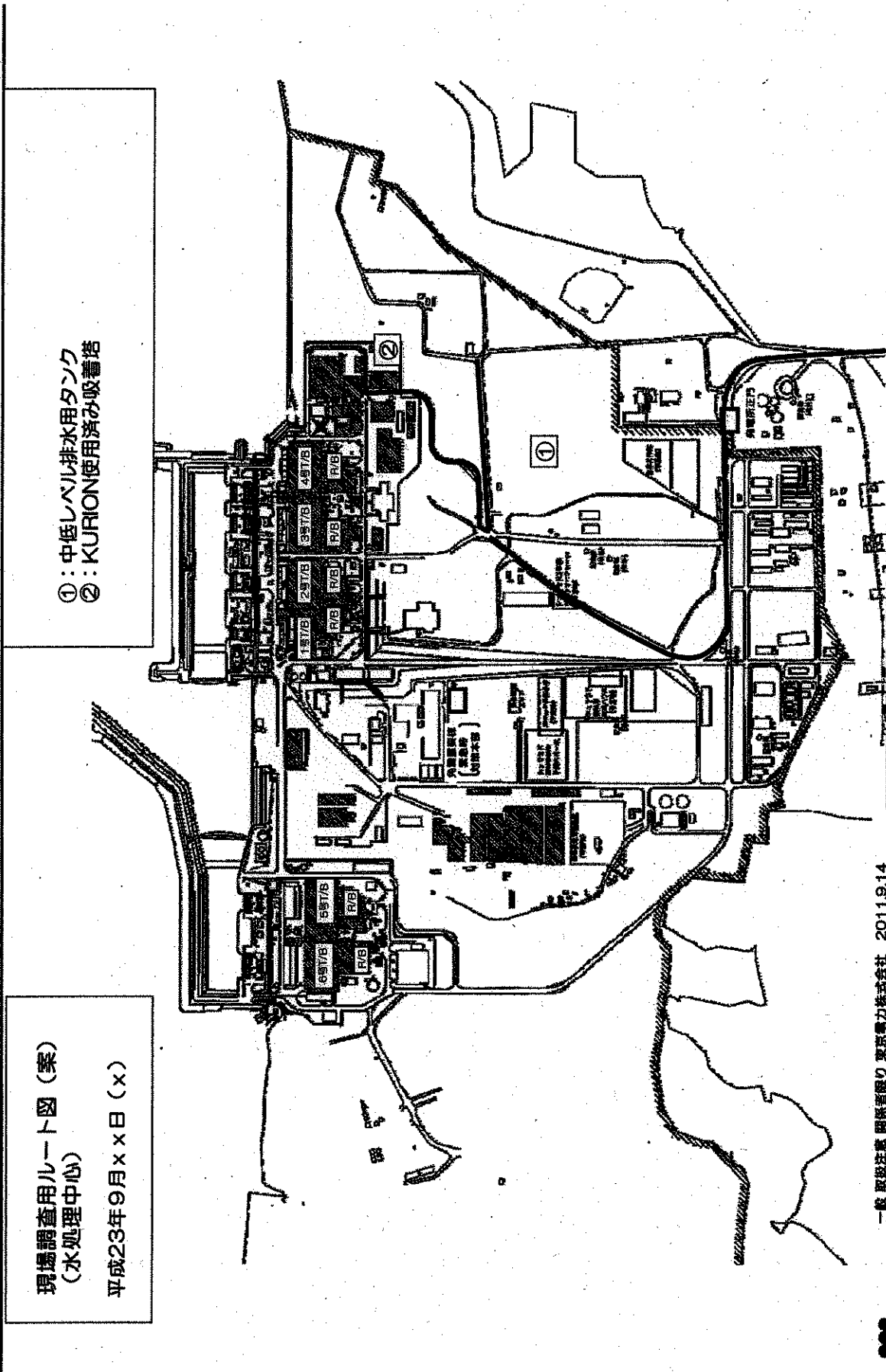


(参考) 現場入域方法による違い

入域方法	放射線従事者登録	一時立入
被ばく上限	1 mSv	0.1 mSv
手続き 〔 ● 参加者実施項目 ・ 当社実施項目 〕	<ul style="list-style-type: none"> ●健康診断 ●放射線防護教育 (@東京、JV) ●福島第一入構登録証発行 ●WBC (現場視察後) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島第一訪問申請 ・一時立入り申請
相違点	現場調査可能エリア 大 現場滞在時間 長	現場調査可能エリア 小 現場滞在時間 短
現場調査可能エリア	1回で、瓦礫・伐採木および水処理関係の両方可能	瓦礫・伐採木、水処理関係に分けて実施 ・瓦礫・伐採木：車内から1時間半程度 （一部下車も可能） ・水処理関係：車内から30分以内 （下車不可能）

- 瓦礫・伐採木については、一時立入でも十分に調査可能
- 水処理関係については、放射線従事者登録をしないと十分な調査は困難

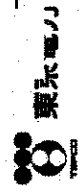
(参考) 一時立入による現場調査ルート例 (水処理関係)



現場調査用ルート図 (案)
 (水処理中心)
 平成23年9月 x x 日 (x)

①: 中低レベル排水用タンク
 ②: KURION使用済み済み吸着塔

一社 取扱注意 関係者限り 東京電力株式会社 2011.9.14



平成23年9月29日

放射性廃棄物の処理サブチーム 現場調査案内 (案)

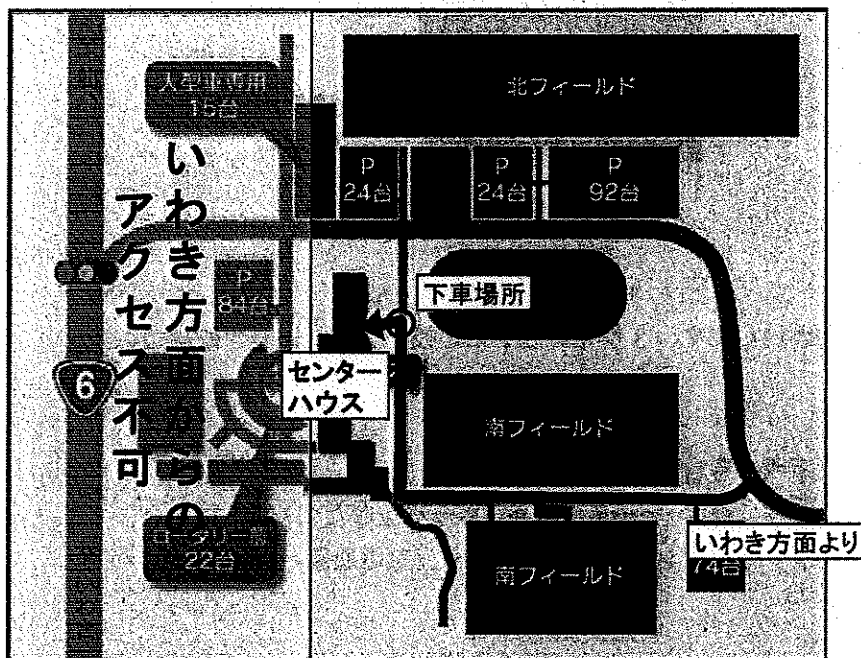
下記の通り、福島第一原子力発電所構内に保管中の廃棄物（瓦礫、伐採木）の現場調査を開催いたします。

記

1. 日時

集合時間 : 10/13 8:50 Jヴィレッジセンターハウス入口集合

解散時間 : 10/13 12:50 Jヴィレッジ解散



Jヴィレッジ概略図

2. 参加メンバー

中長期対策チーム 放射性廃棄物の処理サブチームメンバー

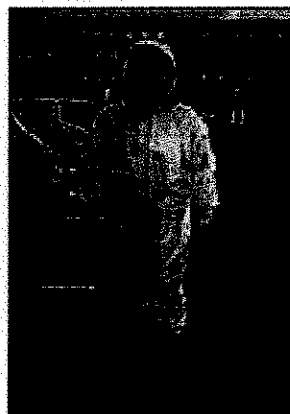
- ・ NISA 塩崎正晴氏、桜井孝史氏、須之内信二氏、武山松次氏、島田太郎氏
- ・ エネ庁 三原守弘氏、苗村公嗣氏
- ・ 文部科学省 (1名)
- ・ JAEA [redacted]氏、[redacted]氏、[redacted]氏
- ・ JNES [redacted]氏、[redacted]氏、[redacted]氏
- ・ 原環センター [redacted]氏
- ・ 東京電力 [redacted]氏、[redacted]氏、[redacted]氏

3. 持ち物

- ・ 写真付身分証（運転免許証、旅券、写真付き住基カード、外国人登録証のいずれか一つ）
- ・ 着替え（必要に応じ）

4. 服装

通常の服装で可。ただし、タイベック等の装備を上から着用するため、軽装（長袖、長ズボン）でお越してください。また、足元はビニール製の靴カバーを装着するため運動靴を推奨します。



- 全面マスク
- タイベック
- 綿手袋+ゴム手袋
- 靴：養生

福島第一入構時の装備

5. 宿泊先

各自手配をお願いします。Jヴィレッジに比較的近い、いわき駅周辺のホテル¹を推奨します。

6. 移動手段

以下の移動手段を各自手配をお願いします。

- ・東京⇄いわき 往復 ……電車（スーパーひたち）等
- ・いわき⇄Jヴィレッジ往復 …タクシー²、東電通勤バス

7. 添付資料

- ① スケジュール
- ② 現場調査ルート（瓦礫・伐採木中心）

以上

¹ 主なホテル

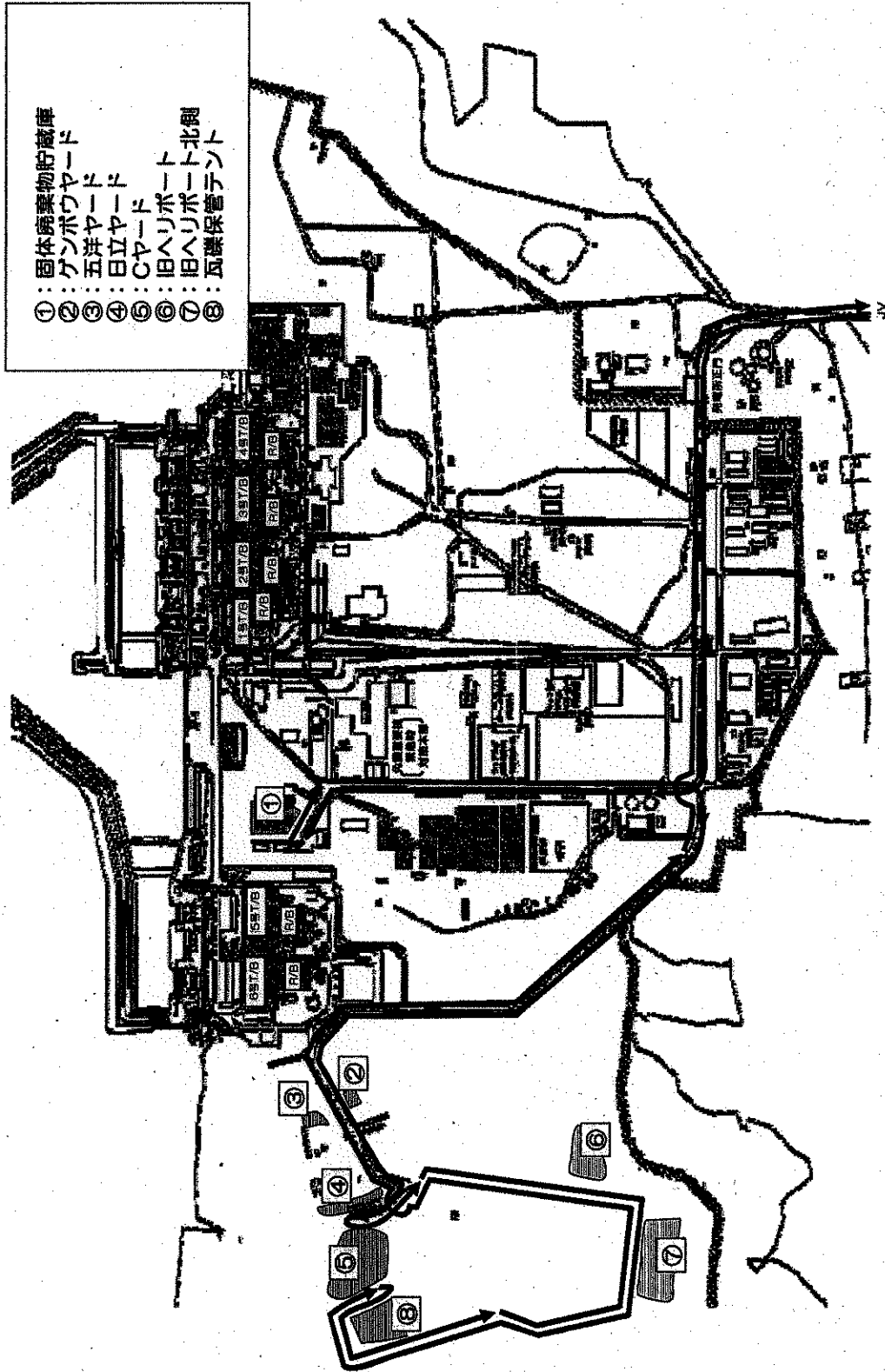
ホテルアルファワンいわき (0246-22-8888)、ホテルルートインいわき駅前 (0246-35-6101)、東横インいわき駅前 (0246-25-1045)

² 平和タクシー (0246-23-0777)、尼子タクシー (0246-21-1234)

放射性廃棄物の処理サブチーム 現場調査スケジュール

日時	内容	交通手段	備考
10/12	移動(上野→宿泊先(いわき))	スーパーひたち等	各自手配 例) 16:00 上野発→18:08 いわき着
10/13 8:00 ~ 8:50	移動(宿泊先(いわき)→Jヴィレッジ)	タクシー または 東電通勤バス(7:30 発)	各自手配 東電通勤バス利用の場合、いわき駅前ロータリーに集合
8:50 ~ 9:20	集合、来訪者カード受取、装備着用		
9:20 ~ 10:20	移動(Jヴィレッジ→福島第一)	東電手配マイクロバス	
10:20 ~ 11:20	現場調査		車内から1時間
11:20 ~ 12:20	移動(福島第一→Jヴィレッジ)	東電手配マイクロバス	
12:20 ~ 12:50	スクリーニング、着替え、来訪者カード回収後解散		
以下、参考			
12:50 ~ 13:30	昼食		Jヴィレッジ食堂(ハーフタイム)利用可能
13:30 ~ 14:20	移動(Jヴィレッジ→いわき)	タクシー または 東電通勤バス(14:10 発)	各自手配
14:14 ~ 16:36	移動(いわき→上野)	スーパーひたち等	各自手配 例) 14:14 いわき発→16:36 上野着 15:08 いわき発→17:38 上野着 16:16 いわき発→18:35 上野着

放射性廃棄物の処理サブチーム 現場調査レポート





【次回事務局会合資料】放射性廃棄物の処理ST

宛先: [Redacted]
Cc: [Redacted]

2011/10/06 11:07

放射性廃棄物の処理サブチーム 各位

お世話になっております。東電 [Redacted] です。

昨日のサブチームにて宿題になっていた、次回事務局会合にて使用する資料を見直しましたので、ご確認ください。

なお、昨日は「検討スケジュール+追加1枚」のイメージでしたが、設備概要等も含め、5枚構成（表紙除く）になっております。

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部 廃棄物対策グループ

TEL: [Redacted] (直通)

FAX: [Redacted]

E-mail: [Redacted]



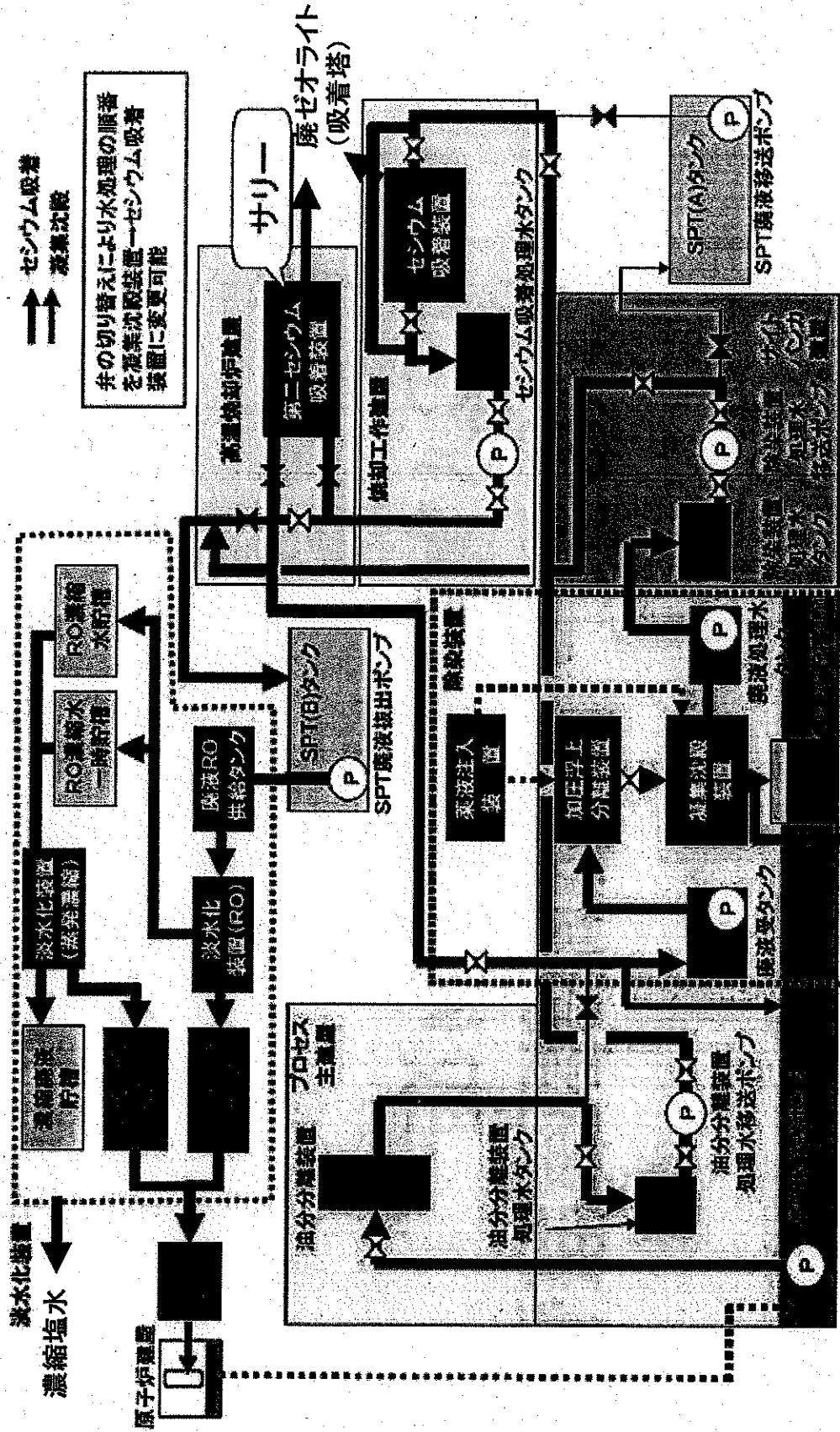
***** 20111007事務局会合(水)rev0.ppt

水処理廃棄物処理・処分にに向けた 取り組みについて

平成23年10月6日

放射性廃棄物の処理サブチーム

現行水処理システムの概要



セシウム吸着
濃集沈殿
↑↑
井の切り替えにより水処理の順番
を凝集沈殿装置→セシウム吸着
装置に変更可能

水の流れ: プロセス主建屋 □ 油分分離装置 □ セシウム吸着装置 □ 凝集沈殿装置 □ 濃集沈殿装置 □ 脱水装置

水処理廃棄物の主な種類・発生量

[H23. 10. 4現在]

廃棄物	発生量・ 貯蔵量	保管容量・ 貯蔵容量	備考
ゼオライト (使用済ベッセル)	232本	393本	発生量：第二セシウム吸着装置使用済みベッセル12本含む 保管容量：第二セシウム吸着装置使用済ベッセルの保管数に応じ保管容量変動
スラッジ	581m ³	800m ³	—
濃縮塩水	59,466m ³	69,700m ³	
淡水	8,603m ³	10,900m ³	貯蔵量：淡水化装置、蒸発濃縮装置稼動中は水位が安定しないため、参考値扱い
濃縮廃液	2,768m ³	9,500m ³	貯蔵容量：運用上の上限値

TMI の状況（ゼオライト）

◆ TMI-2における水処理

福島第一で使用している水処理装置（KURION、SARRY）は、TMI-2の水処理装置にて実績のあるゼオライトをセシウム
の吸着材として採用。

⇒ KURION、SARRYの二次廃棄物処理・処分の検討では
TMIの水処理廃棄物処理・処分が参考となる

◆ TMI-2水処理廃棄物処理・処分

廃ゼオライト容器（19体）についてはDOEが引き取り
ガラス固化試験
コンクリートオーバーパックに封入した埋設試験（監視中）

▶ TMI-2においても処分までには至っていない

▶ 福島第一の水処理廃棄物では、

✓ 「TMI-2より物量が膨大」

✓ 「海水注入による影響を考慮する必要がある」など独自の課題



処理・処分は、長期的に取り組む課題（至近の課題は安定保管）

取り組みの方針（9月20日の道筋）

課題	初回(4/17)時点	ステップ1(3ヶ月程度)	ステップ2(ステップ1終了後3~6ヶ月程度) ▼現時点(9/20)	中期的課題 (~3年程度)
(3) 滞留水	淡水注入 最小限の注水による燃料冷却(注水冷却) 循環注水☆ 滞留水再利用の検討/準備 冷却(開始)	循環注水☆ 窒素充填☆	循環注水冷却(継続) 窒素充填(継続)	冷温停止状態の継続
	放射能レベルの高い水の移動 放射能レベルの低い水の保管	作業環境改善☆ 注入操作の信頼性向上/遠隔操作 循環冷却システム(熱交換器の設置)☆ 保管/処理施設の設置☆	注入操作の遠隔操作 熱交換機能の検討/実施 施設拡張/本格水処理施設検討 除染/倍公処理(再利用)室 廃スラッジ等の保管/管理☆	構造材の腐食破損防止※一部前倒し 燃料の取り出し作業の開始 本格水処理施設の設定 滞留水の処理継続 廃スラッジ等の保管/管理 廃スラッジ等の処理の研究
(5) 大気・土壌	地下水の汚染拡大防止 遮水壁の方式検討	保管施設の設置/除染処理 飛散防止剤の散布 瓦礫の撤去・管理	海洋汚染拡大防止 遮水壁の設計・着手 飛散防止剤の散布(継続) 瓦礫の撤去・管理(継続) 原子炉建屋カバーの設置(1号機)☆ 瓦礫撤去(3,4号機/原子炉建屋上部) 原子炉建屋コンテナの検討 格納容器ガス管理システム設置	海洋汚染拡大防止 地下水の汚染拡大防止 遮水壁の構築 飛散防止剤の散布 瓦礫の撤去・管理 瓦礫の撤去/カバーの設置(3,4号機) 原子炉建屋コンテナ設置作業の開始 格納容器ガス管理システム設置

水処理で発生する廃棄物に関する目標

ステップ2 : 廃スラッジ等の保管/管理

中期 : 廃スラッジ等の処理の研究

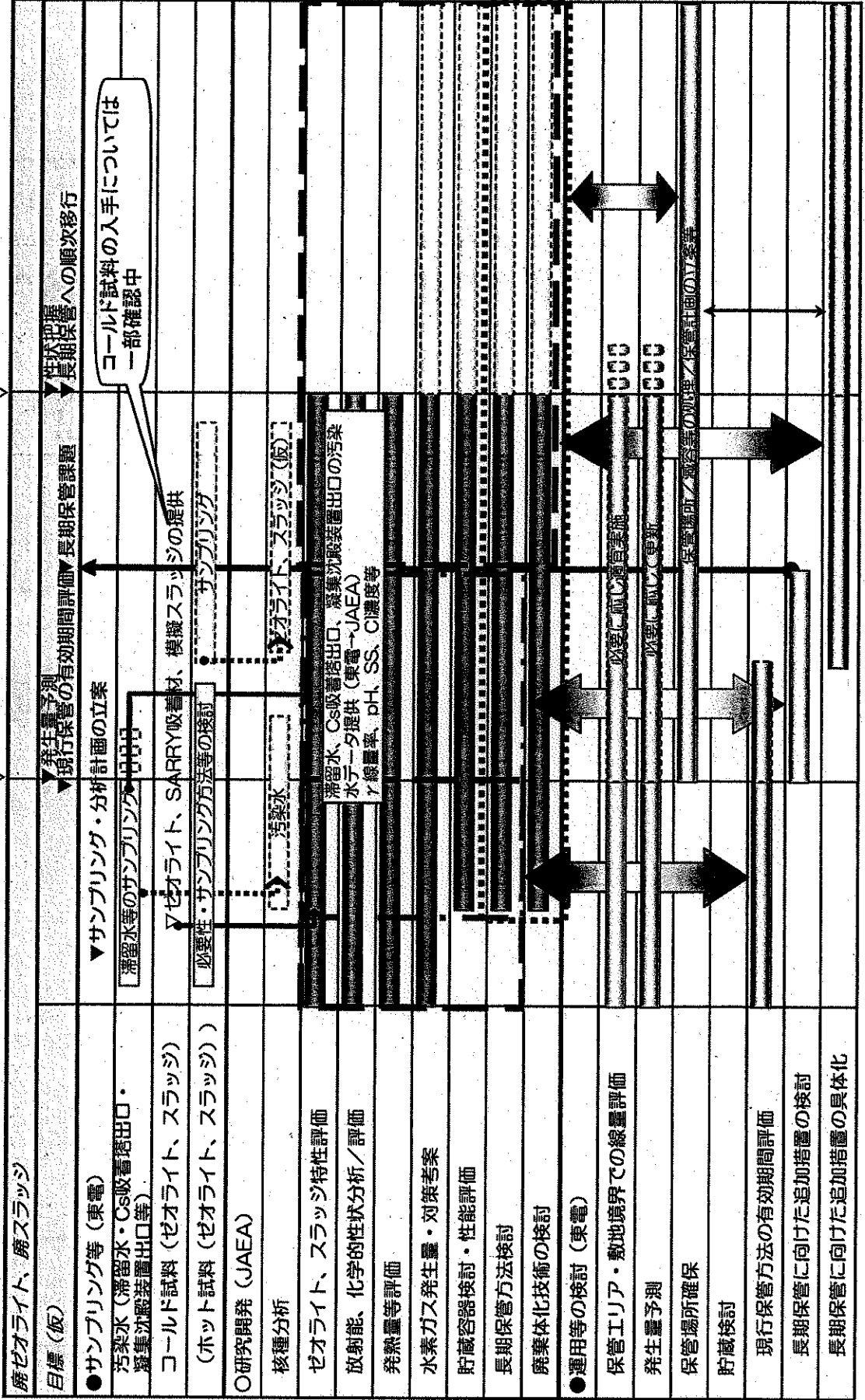
長期 : 処理・処分に向けた研究

当面の課題は適切な保管/管理
並行して処理・処分の検討に着手

具体的な取組

H25年末

H23年末





瓦礫・伐採木公表イメージ

宛先: [Redacted]
Cc: [Redacted]

2011/10/06 11:46

各位

大変お世話になっております。東電、[Redacted]です。
瓦礫・伐採木について、公表イメージをまとめましたのでお送りします。
(図は古い情報に基づいており最新化できておりません)

なお、本資料について、当社立地側と調整を進めているところですが、
樹木伐採の関係で、県・町との説明が難航しており、そのあおりを受けて
公表に向けた説明が進捗できない状況です。
(保管エリアの一部が樹木伐採エリアに当たるため)

明日、改めて状況についてお知らせできると思いますのでよろしくお祈いします。
(なお、本日の特プロ終了後、明日の事務局会合の議題を根井審議官と確認する際、上記の状況に
ついて簡単に頭出しさせていただきました)

よろしくお願い申し上げます。



東京電力株式会社
原子燃料サイクル部 廃棄物対策G

〒100-8560 東京都千代田区千代田1-1-3

TEL: [Redacted]

FAX: [Redacted]

E-Mail: [Redacted]

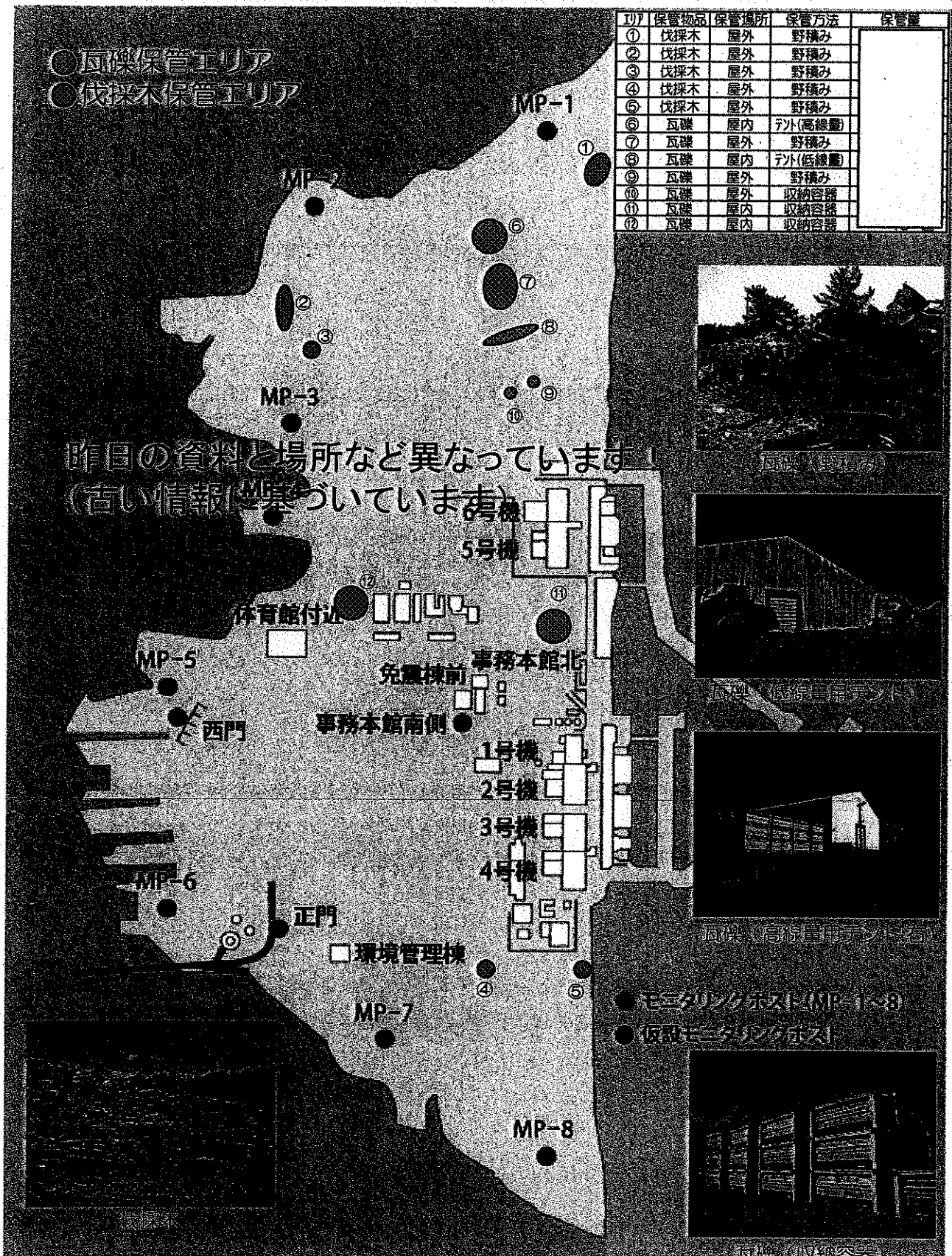


【作成中】撤去ガレキの保管場所ver0_0.ppt.sve



【作成中】撤去ガレキの保管場所ver0_0.ppt

事故収束作業に伴い発生した廃棄物の管理状況





Re: 【次回事務局会合資料】放射性廃棄物の処理ST

宛先: [Redacted]
Cc: [Redacted]

2011/10/06 14:00

中村様、宮本様
お世話になっております。東電 [Redacted] です。
コメントありがとうございました。反映いたします。

----- Original Message -----

From: [Redacted]
To: [Redacted]
<sasa [Redacted]>
<miyan [Redacted]>
<shioz [Redacted]>
<t [Redacted]>
<k [Redacted]>
<m [Redacted]>
Cc: [Redacted]
<ka [Redacted]>
<so [Redacted]>
<s [Redacted]>

Sent: Thursday, October 06, 2011 11:46 AM
Subject: RE: 【次回事務局会合資料】放射性廃棄物の処理ST

[Redacted] 様
米国の方針はまだ固まっておらず、複数の方策を検討していることを示す為に、TMI
ゼオライトのガラス固化試験の記載について3体を試験に供し残り16体を埋設試験に
供していることなど数値についても追記してはいかがか。

日本原子力研究開発機構
福島支援本部 復旧支援部
[Redacted]
東京事務所
TEL: [Redacted] (内線 [Redacted])
FAX: [Redacted]

----- Original Message -----

From: [Redacted]
Sent: [Redacted]
To: [Redacted]
Cc: [Redacted]

Subject: 【次回事務局会合資料】放射性廃棄物の処理ST

放射性廃棄物の処理サブチーム 各位
お世話になっております。東電 [Redacted] です。
昨日のサブチームにて宿題になっていた、次回事務局会合にて使用する
資料を見直しましたので、ご確認ください。

なお、昨日は「検討スケジュール+追加1枚」のイメージでしたが、
設備概要等も含め、5枚構成（表紙除く）になっております。

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部 廃棄物対策グループ

TEL : [REDACTED] (直通)

FAX : [REDACTED]

E-mail : [REDACTED]



しおり6.pdf

平成23年10月6日

放射性廃棄物の処理サブチーム 現場調査案内 (案)

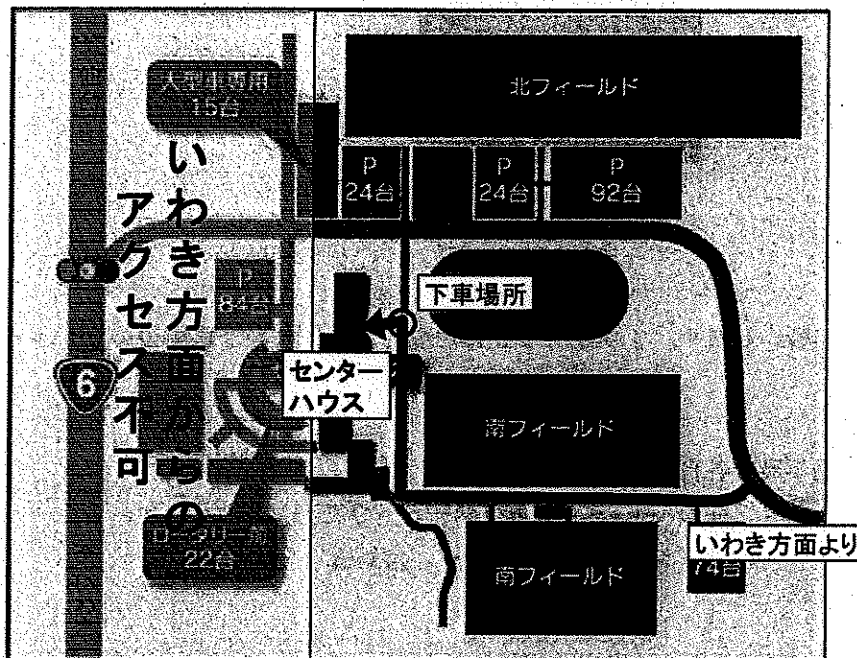
下記の通り、福島第一原子力発電所構内に保管中の廃棄物（瓦礫、伐採木）の現場調査を開催いたします。

記

1. 日時

集合時間 : 10/13 8:50 Jヴィレッジセンターハウス入口集合

解散時間 : 10/13 12:10 Jヴィレッジ解散



Jヴィレッジ概略図

2. 参加メンバー

中長期対策チーム 放射性廃棄物の処理サブチームメンバー

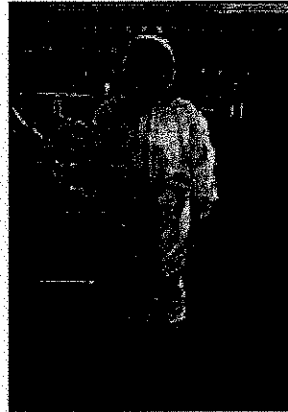
- ・ NISA 塩崎正晴氏、桜井孝史氏、須之内信二氏、島田太郎氏
- ・ エネ庁 三原守弘氏、苗村公嗣氏、弥富洋介氏
- ・ 文部科学省 桜井清一氏
- ・ JAEA [redacted]氏、[redacted]氏、[redacted]氏
- ・ JNES [redacted]氏、[redacted]氏、[redacted]氏
- ・ 原環センター [redacted]氏
- ・ 東京電力 [redacted]氏、[redacted]氏、[redacted]氏

3. 持ち物

- ・ 写真付身分証（運転免許証、旅券、写真付き住基カード、外国人登録証のいずれか一つ）
- ・ 着替え（必要に応じ）

4. 服装

通常の服装で可。ただし、タイベック等の装備を上から着用するため、軽装（長袖、長ズボン）でお越しください。また、足元はビニール製の靴カバーを装着するため運動靴を推奨します。



— 全面マスク

— タイベック

— 綿手袋+ゴム手袋

— 靴：養生

福島第一入構時の装備

5. 宿泊先

各自手配をお願いします。Jヴィレッジに比較的近い、いわき駅周辺のホテル¹を推奨します。

6. 移動手段

以下の移動手段を各自手配をお願いします。

- ・東京⇄いわき 往復 ……電車（スーパーひたち）等
- ・いわき⇄Jヴィレッジ往復 …タクシー²、常磐線

7. 連絡先

当日、何かありましたら、**〇〇〇** (TEL: **〇〇〇〇〇〇〇〇**) までお願いいたします。

8. 添付資料

- ① スケジュール
- ② 現場調査ルート（瓦礫・伐採木中心）

以上

¹ 主なホテル

ホテルアルファワンいわき (0246-22-8888)、ホテルルートインいわき駅前 (0246-35-6101)、東横インいわき駅前 (0246-25-1045)

² 四倉マルイチタクシー (0246-82-2217 広野・Jヴィレッジ OK)

平和タクシー (0246-23-0777)

尼子タクシー (0246-21-1234)

放射性廃棄物の処理サブチーム 現場調査スケジュール

日時	内容	交通手段	備考
10/12	移動(上野→宿泊先(いわき))	スーパーひたち等	各自手配 例) 16:00 上野発→18:08 いわき着
10/13 8:00 ~ 8:50	移動(宿泊先(いわき)→Jヴィレッジ)	タクシー または 常磐線+タクシー	各自手配
8:50 ~ 9:20	集合、来訪者カード受取、装備着用		Jヴィレッジ 3F応接2』にて着替え
9:20 ~ 10:00	移動(Jヴィレッジ→福島第一)	東電手配マイクロバス	
10:00 ~ 11:00	現場調査		車内から1時間
11:00 ~ 11:40	移動(福島第一→Jヴィレッジ)	東電手配マイクロバス	
11:40 ~ 12:10	スクリーニング、着替え、来訪者カード回収後解散		Jヴィレッジ 3F応接2』にて着替え
以下、参考			
12:10 ~ 13:00	昼食		Jヴィレッジ食堂(ハーフタイム)利用可能
13:00 ~ 13:20	移動(Jヴィレッジ→広野)	タクシー	各自手配
	移動(広野→上野)	常磐線	各自手配。下記参照

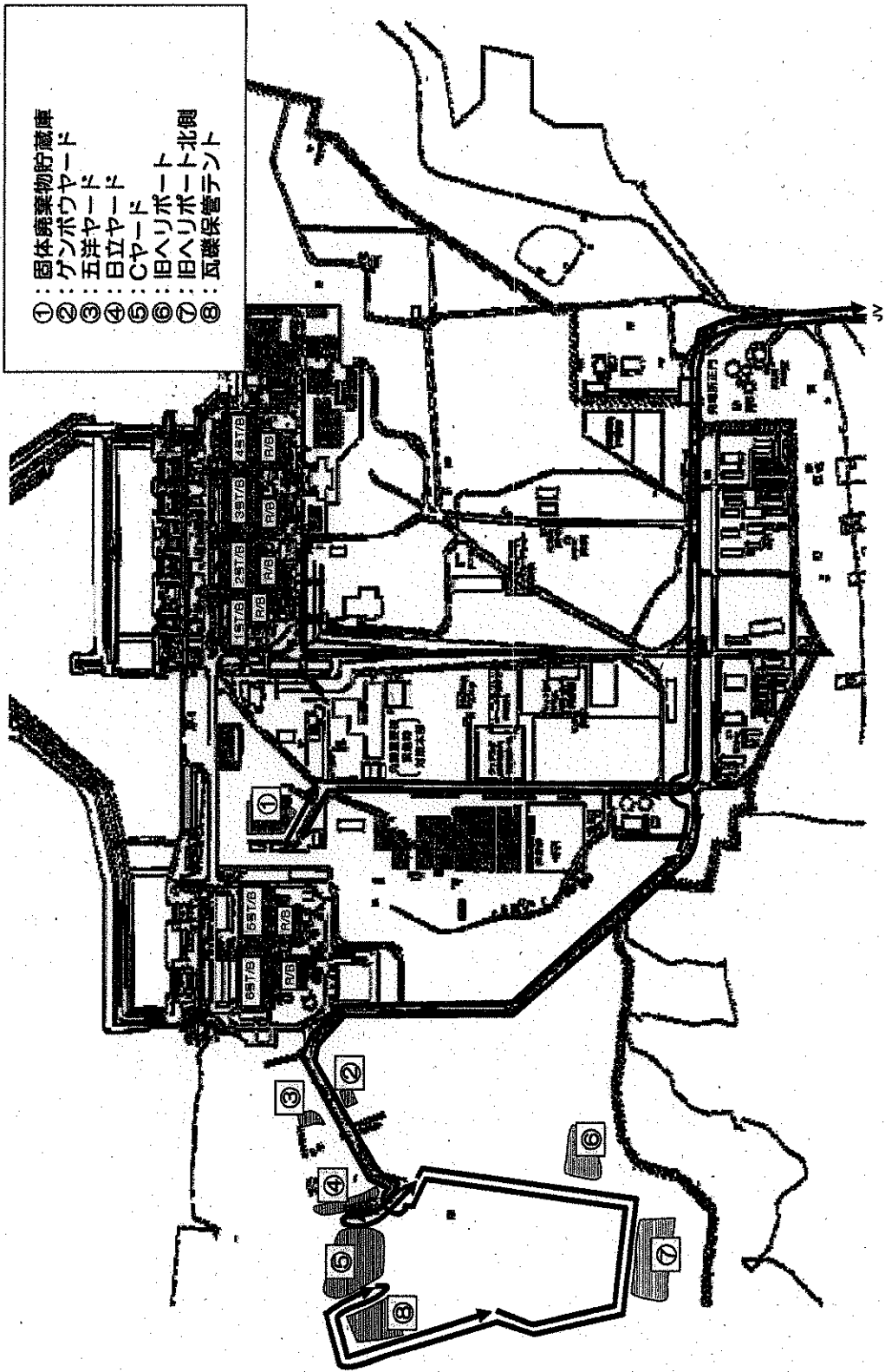
時刻表 (行き)

いわき	広野
発	着
7:49	8:14
※広野～Jヴィレッジ間はタクシー	

時刻表 (帰り)

広野	いわき	上野
発	着 発	着
12:49	13:14 13:19	15:35
	14:14	16:36
14:34	15:00 15:08	17:38
	16:16	18:35
16:53	17:19 17:22	19:36

放射性廃棄物の処理サブチーム 現場調査レポート



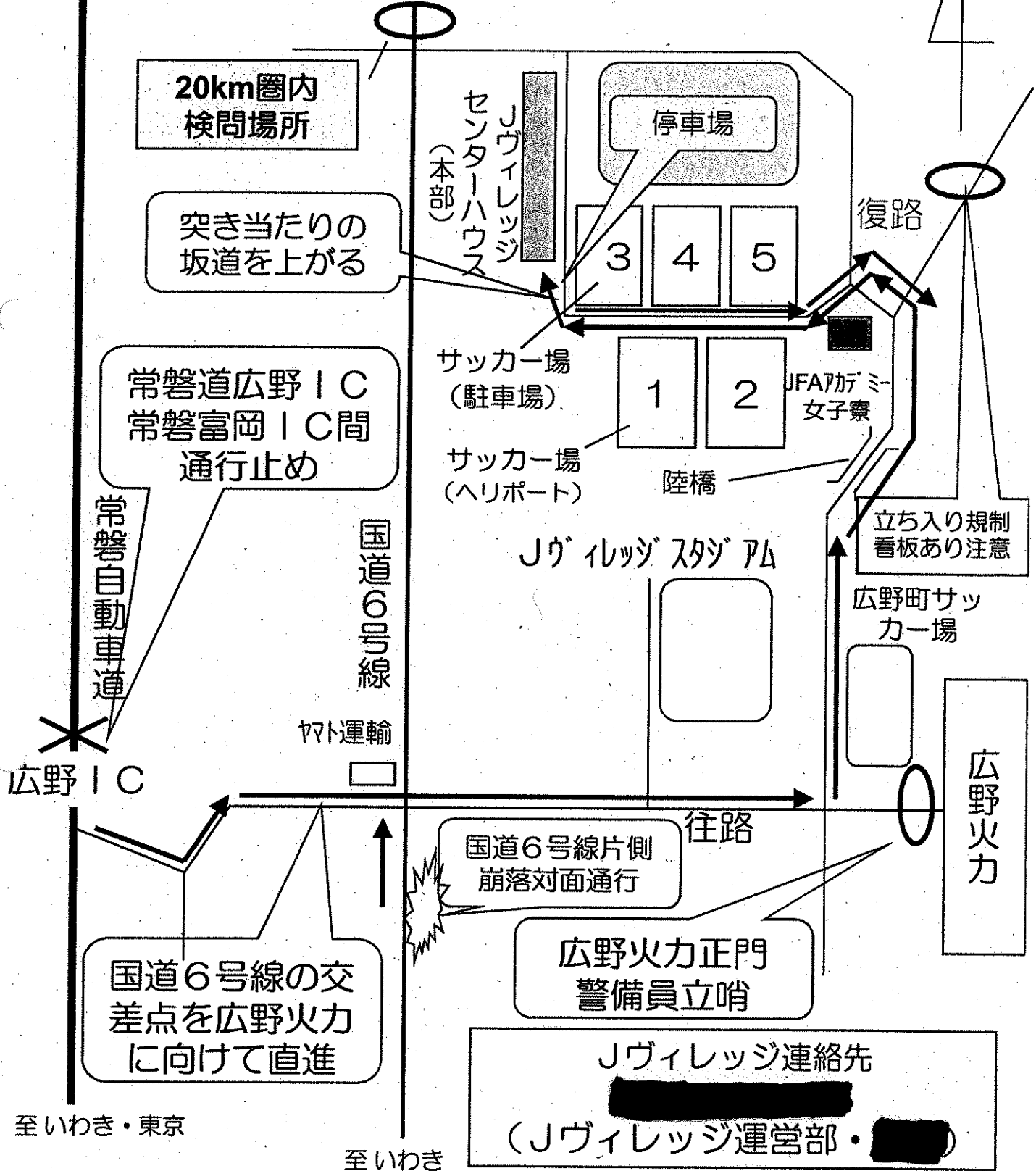


Jヴィレッジへのアクセスマップ201109(乗用車).ppt

Jヴィレッジへのアクセスマップ

至 福島第一・福島第二原子力発電所

北



>>> 原子燃料サイクル部 廃棄物対策G

〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3

TEL : [REDACTED]

FAX : [REDACTED]

E-Mail : [REDACTED]



> 〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3

> TEL : [REDACTED]

> FAX : [REDACTED]

> E-Mail : [REDACTED]



汚染水処理で発生する二次廃棄物の処理・処分に
向けた検討の方向性および
瓦礫・伐採木等の保管管理について

2011年10月26日

東京電力株式会社

原子燃料サイクル部

1

目次

1. 汚染水処理に伴い発生する二次廃棄物の処理・処分
2. 瓦礫・伐採木の保管管理
3. まとめ
4. アドバイス頂きたい点について

2

1. 汚染水処理に伴い発生する 二次廃棄物の処理・処分

3

処理・処分に向けた取り組み

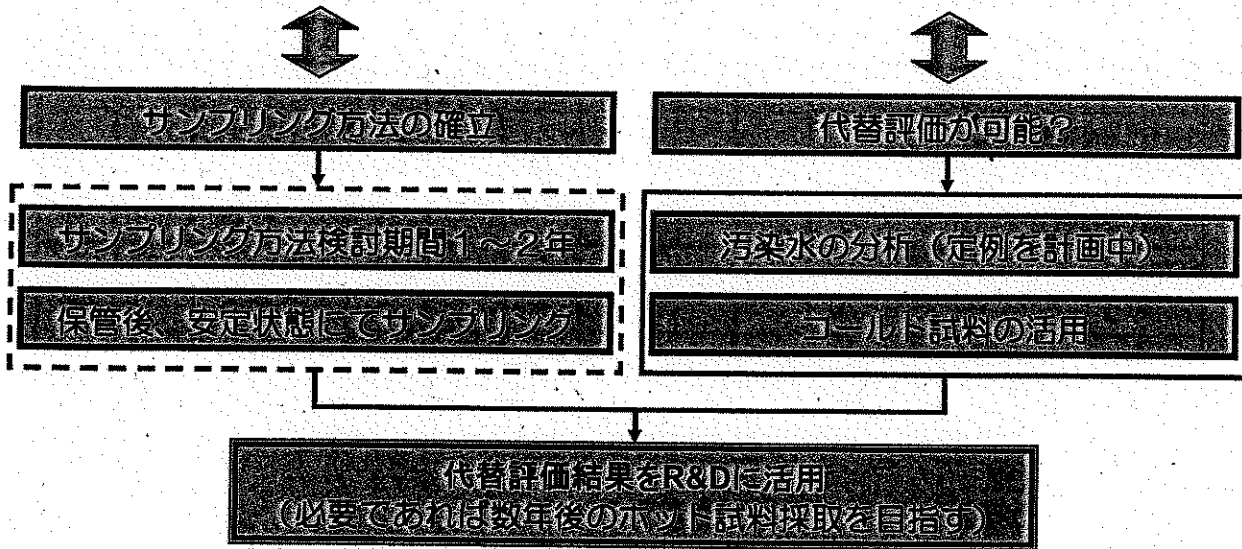
- ▶ 処分までに必要な期間は長期になることを想定
- ▶ 処分方法と処理方法は一体的に検討することが必要
 - ⇒ 処理を開始する時期も中長期的視野が必要
- ▶ 海水注入など、1F特有の事象
 - ⇒ 処理・処分の検討には過去の知見だけでは不十分
(新たな調査が必要)
- ▶ 処理・処分までの道筋が長期間
 - ⇒ 長期間、安定して保管することが重要
 - ⇒ 水素発生・発熱等の他、容器の腐食など



長期安定保管管理・処理・処分検討のための
性状把握に取り組む

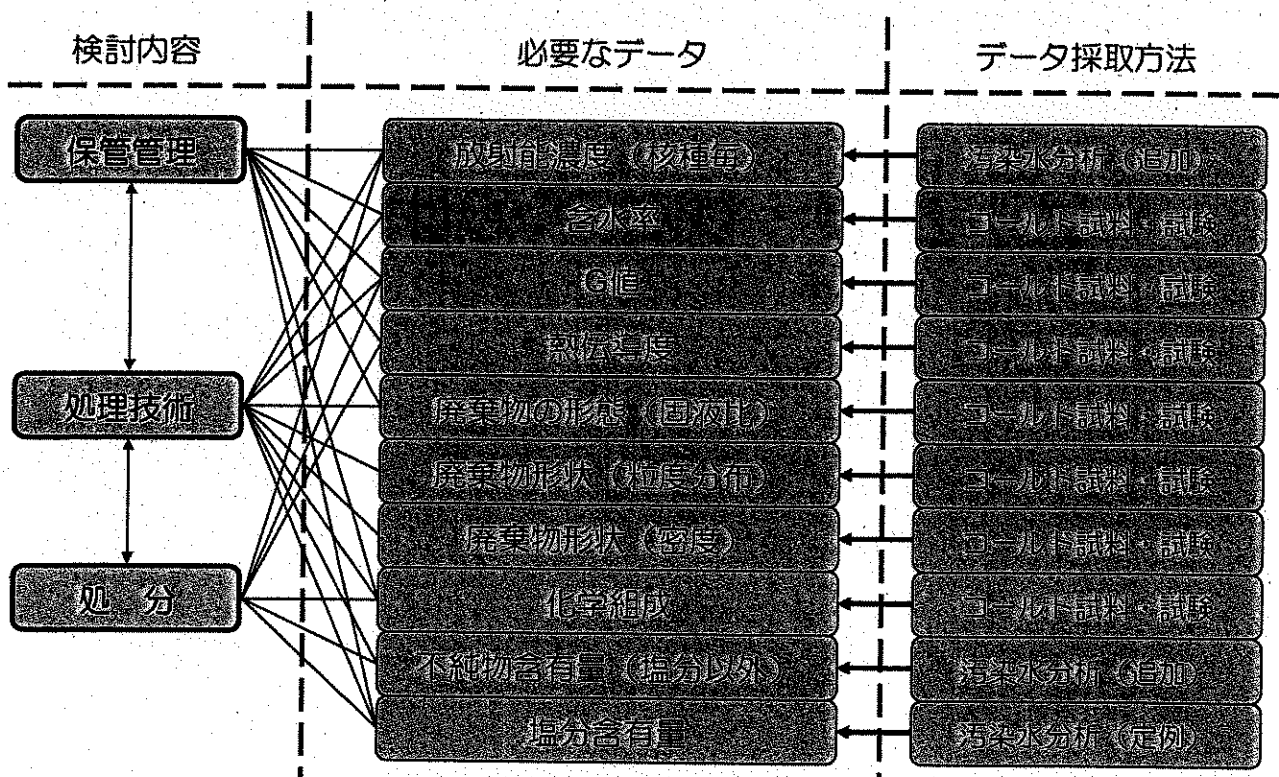
サンプリングの方向性

- 性状把握のためには、実廃棄物のサンプリング・分析が必要
- ゼオライトやスラッジのホット試料は、サンプリングが困難



5

研究開発に必要な情報の整理



汚染水分析項目について

▶定例で実施している分析・測定項目（運転側で設定）

試料採取箇所	分析・測定項目											
	塩分濃度	pH	導電率	油分	SS	イオン濃度	アルカリ度	γ核種	全α核種	全β核種	Sr-89+90	H-3
滞留水	○	○	○	○	○	○		○	○		○	
KURION装置出口					○			○				
AREVA装置出口								○				
SARRY_S5吸着塔出口								○				
RO入口	○	○			○	○		○		○	○	○
RO排水（RO出口）	○	○						○		○	○	○
RO濃廃水	○	○				○		○		○	○	
エバポ入口	○	○			○	○	○	○		○		○
エバポ排水	○	○						○		○	○	○
エバポ濃縮廃液	○	○						○		○	○	

▶追加分析項目

核種毎の放射能濃度・不純物含有量

⇒ 分析核種は、日本で想定している各処分区分での重要核種を網羅する予定
（滞留水のα核種は検出限界未滿 → 全αの測定で代用）

2. 瓦礫・伐採木の保管管理

瓦礫・伐採木の保管管理

○事故収束作業に伴い、大量の瓦礫及び伐採木が発生しており、処分を行うまでの当面、安定的に保管していくことが必要



◆保管管理方針

- ①廃棄物の保管エリアの確保
⇒ 廃棄物全体(既発生・将来発生)の物量把握
- ②安全な保管状態の維持
⇒ 保管エリアの管理(エリア占有度の把握, 放射線管理, 飛散防止対策, 防火対策)

9

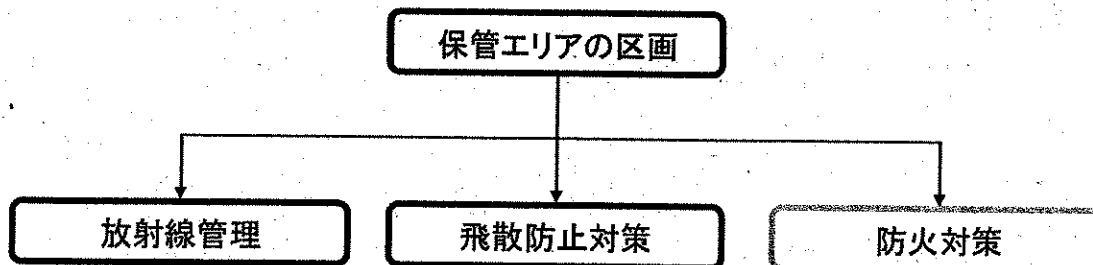
現状の取り組み

○保管管理方法を定め、保管量の把握・保管エリアの管理を実施

・保管量の把握

- 月1回の頻度で定期的に保管量の集計を実施
- 同時に保管エリアにおける占有率を算出し、エリアの裕度を管理

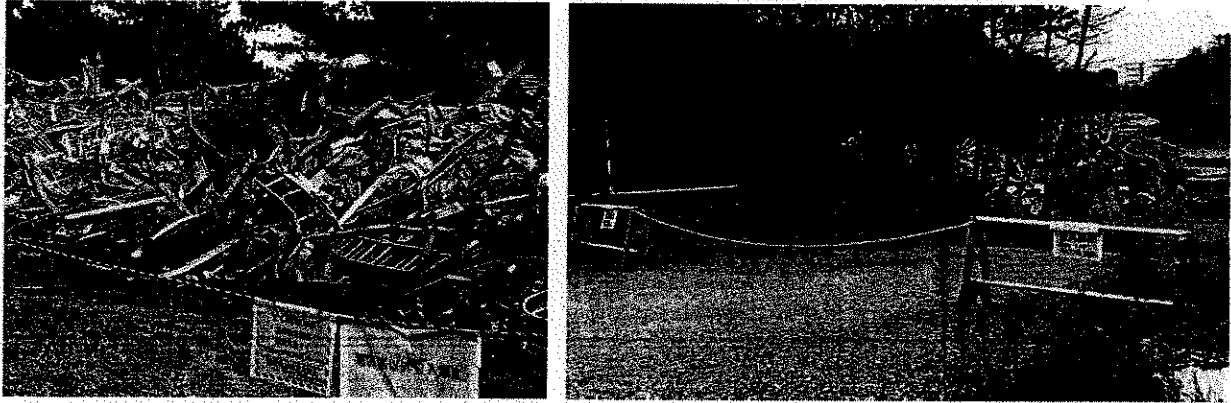
・保管エリアの管理



10

保管エリアの管理①（保管エリアの区画）

- 関係者以外がむやみに立ち入らないよう、保管エリアの明確化
- 進入路となりうる場所に立ち入り制限表示及びロープ等による区画

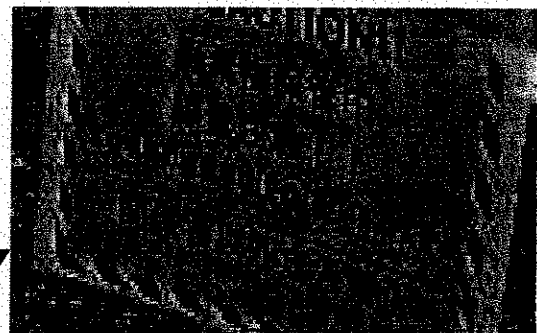


区画された保管エリア

11

保管エリアの管理②（放射線管理）

- 保管エリア境界の空間線量率の測定を定期的を実施
- 測定結果は保管エリア境界に表示し作業者への注意喚起
[測定点]保管エリア境界付近の地上から1m程度の高さの地点
[頻 度]1週間に1回

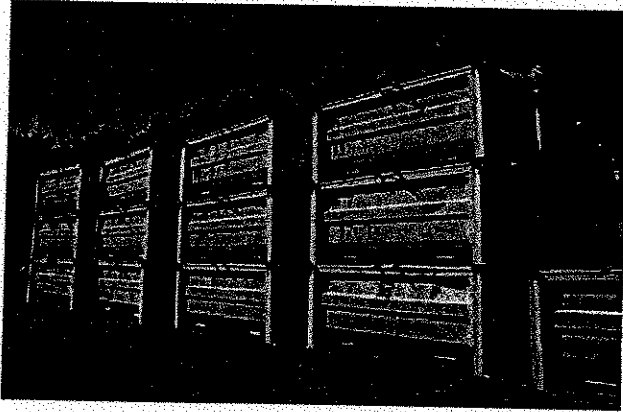


空間線量率の表示

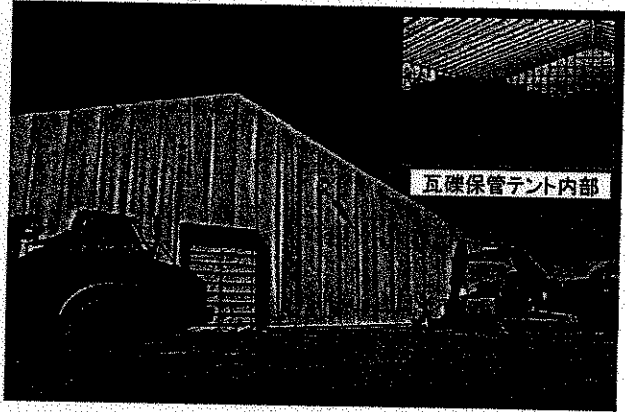
12

保管エリアの管理③（飛散防止対策）

- 表面線量率の高い廃棄物を対象に実施
 - ・蓋付きの容器に収納
 - ・テントに収納



蓋付きの容器

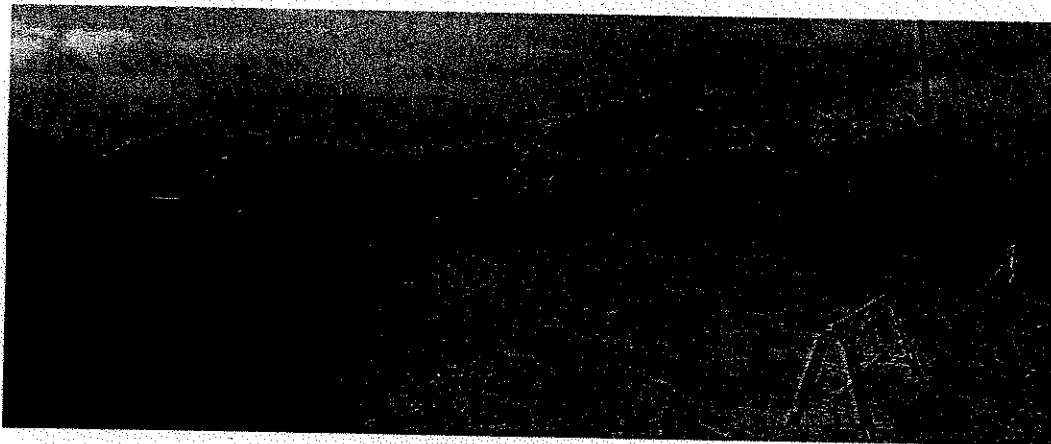


瓦礫保管テント

13

保管エリアの管理④（防火対策）

- 伐採した枝葉などの可燃性の廃棄物を対象に実施
 - ・集積高さ制限や風通し確保等による温度上昇の抑制
 - ・定期的な水の散布
 - ・消火器の設置



伐採した枝葉の保管エリア

14

3. まとめ

- ✓水処理で発生する二次廃棄物（ゼオライト・スラッジ）
 - ▶長期安定保管管理・処理・処分検討のための性状把握に取り組む
 - ▶性状把握のための代替評価・サンプリング方法を確立する
 - ▶研究開発に必要な情報の整理を実施するとともに分析項目について検討中

- ✓瓦礫・伐採木
 - ▶将来発生する廃棄物量も含めた保管エリアの確保を行う
 - ▶処分方針が明確になるまで、安定的な保管管理を維持

15

4. アドバイス頂きたい点

- ✓TMIの廃ゼオライト処理・処分は
どのような方針で実施されたのか？

- ✓TMIの炉心デブリの処理・処分は
どのような方針で実施されたのか？

- ✓海水（塩素）を含む放射性廃棄物の処理・処分に
関する知見があればアドバイス頂きたい

16

ご静聴ありがとうございました



【開催案内】放射性廃棄物の処理ST

宛先:

2011/12/05 13:35

Cc:

『⑦放射性廃棄物の処理サブチーム』メンバー各位

大変お世話になっております。
東京電力の[REDACTED]と申します。

次回のサブチーム会合を、下記日程で開催させて頂きたい
と考えておりますが、皆様のご都合につきまして、お聞かせ
願えますでしょうか。

よろしく願いいたします。

日程：12月8日（木）16：00～17：00
場所：当社東新ビル704会議室
議題：瓦礫・伐採木の物量集計状況 など

以上

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部
廃棄物対策グループ

[REDACTED]
〒100-8560
東京都千代田区内幸町1-1-3
TEL：[REDACTED]（直通）
FAX：[REDACTED]
mail：[REDACTED]

> TEL : [redacted] (直通)
> FAX : [redacted]

-----Original Message-----

From: [redacted]
> Sent: Monday, December 05, 2011 7:35 PM
> To: [redacted]

Cc: [redacted]

Subject: 【開催案内】放射性廃棄物の処理S1

> 『⑦放射性廃棄物の処理サブチーム』メンバー各位

> 大変お世話になっております。
> 東京電力の[redacted]と申します。

> 次回のサブチーム会合を、下記日程で開催させて頂きたい
> と考えておりますが、皆様のご都合につきまして、お聞かせ
> 願えますでしょうか。

> よろしくお願いたします。

> 日程：12月8日(木) 16:00~17:00
> 場所：当社東新ビル704会議室
> 議題：瓦礫・伐採木の物量集計状況 など

> 以上

—
東京電力株式会社
原子燃料サイクル部
廃棄物対策グループ

[redacted]
〒100-8560
東京都千代田区内幸町1-1-3
TEL : [redacted]
FAX : [redacted]
mail : [redacted]

> 原子力安全・保安院 放射性廃棄物規制課
> 須之内 信二
> TEL: [REDACTED]
> FAX: [REDACTED]
> E-mail: [REDACTED]
> *****
>



パスワード 廃棄物保管状況の送付

[Redacted]
宛先: [Redacted]
Cc: [Redacted]

2011/12/08 20:14

111208



廃棄物保管状況の送付

宛先:

2011/12/08 20:14

Cc:

『⑦放射性廃棄物の処理サブチーム』メンバー各位

大変お世話になっております。
東京電力の[REDACTED]です。

月1の物量定期集約結果につきまして、添付の通り
報告させていただきますので、確認お願い致します。

パスワードは別途送付致します。

以上

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部
廃棄物対策グループ

[REDACTED]
〒100-8560
東京都千代田区内幸町1-1-3
TEL: [REDACTED] (直通)
FAX: [REDACTED]
mail: [REDACTED]

----- Original Message -----

From: [REDACTED]
Sent: Monday, December 05, 2011 1:35 PM
Subject: 【開催案内】放射性廃棄物の処理ST

『⑦放射性廃棄物の処理サブチーム』メンバー各位

大変お世話になっております。
東京電力の[REDACTED]と申します。

次回のサブチーム会合を、下記日程で開催させて頂きたい
と考えておりますが、皆様のご都合につきまして、お聞かせ
願えますでしょうか。

よろしく願いいたします。

日程: 12月8日(木) 16:00~17:00
場所: 当社東新ビル704会議室
議題: 瓦礫・伐採木の物量集計状況 など

以上

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部
廃棄物対策グループ



〒100-8560
東京都千代田区内幸町1-1-3
TEL : [Redacted] (直通)
FAX : [Redacted]



mail : [Redacted] 1F構内廃棄物保管状況1208.zip

事故収束作業に伴い発生した瓦礫・伐採木の保管状況 (H23.12.7時点)

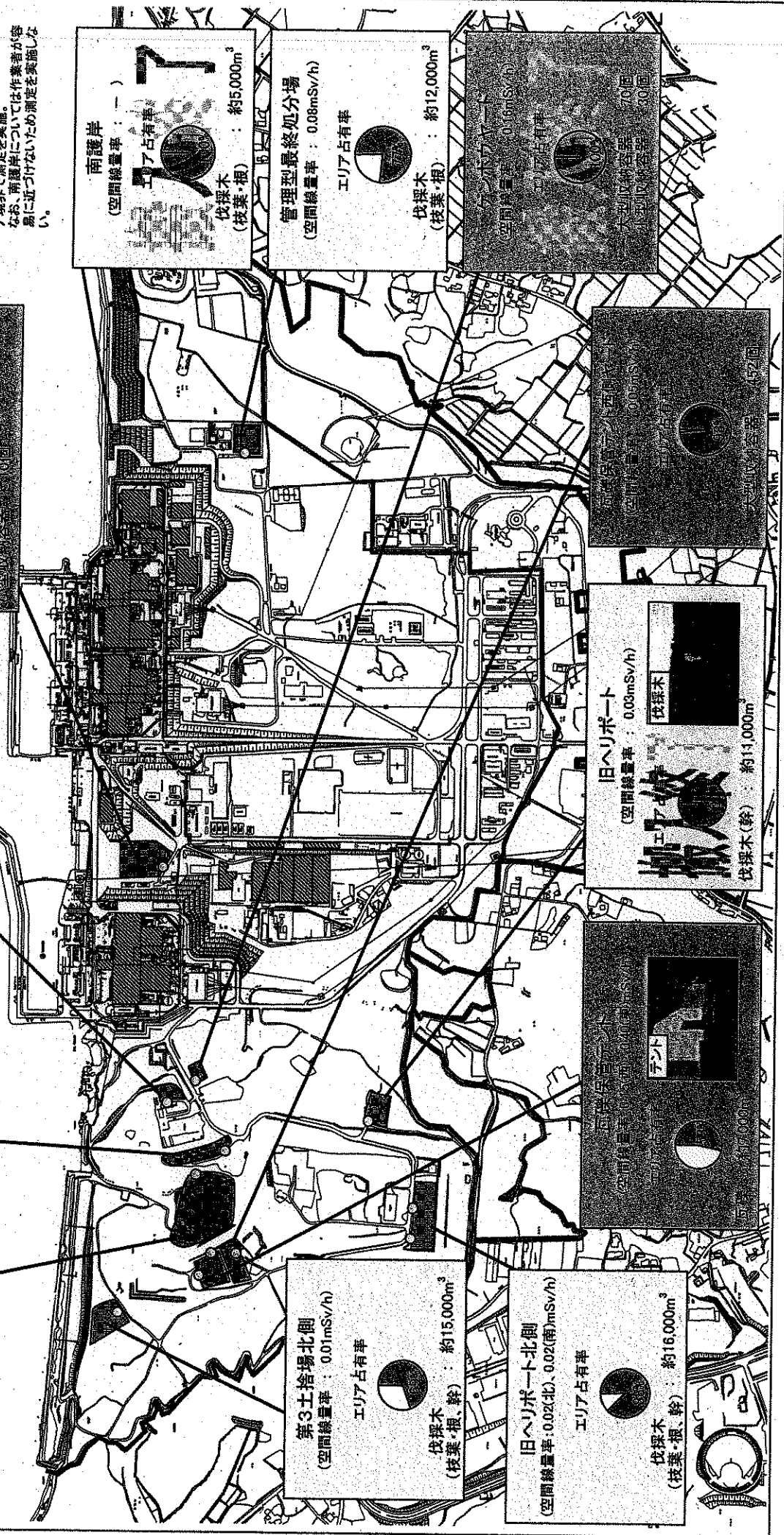
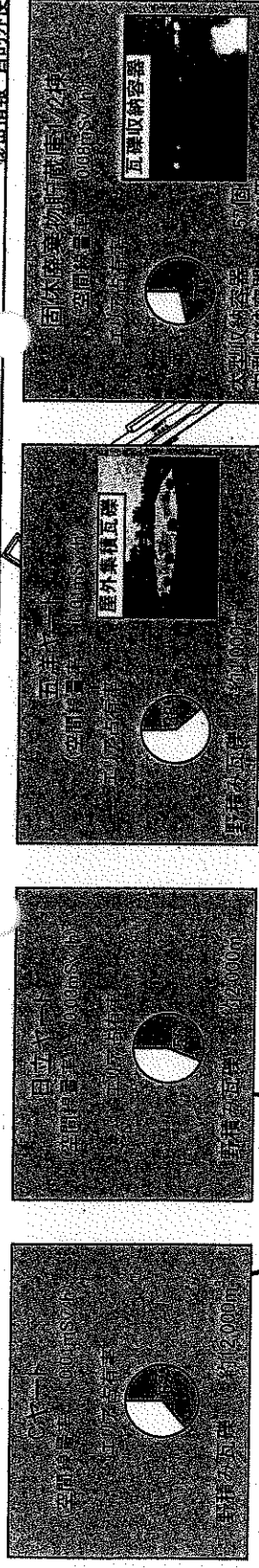
秘密情報 目的外使用・複製・開示禁止 東京電力株式会社 H23.12.8

瓦礫収納容器の目安容量
 大型収納容器：8m³程度
 中型収納容器：5m³程度
 小型収納容器：3m³程度

— 敷地境界
 — 周辺監視境界

○ 空間線量率測定点 (12/6測定)

※空間線量率については、保管エリア境界で測定を実施。なお、南護岸については作業者が容易に近づけないため測定を実施しない。



南護岸
 (空間線量率：—)
 エリア占有率
 伐採木 (枝葉・根)：約5,000m³

管理型最終処分場
 (空間線量率：0.08mSv/h)
 エリア占有率
 伐採木 (枝葉・根)：約12,000m³

旧ハリポート
 (空間線量率：0.16mSv/h)
 エリア占有率
 伐採木 (枝葉・根)：約15,000m³

旧ハリポート
 (空間線量率：0.03mSv/h)
 エリア占有率
 伐採木 (枝葉・根)：約11,000m³

第3土捨場北側
 (空間線量率：0.01mSv/h)
 エリア占有率
 伐採木 (枝葉・根、幹)：約15,000m³

旧ハリポート北側
 (空間線量率：0.02(北)、0.02(南)mSv/h)
 エリア占有率
 伐採木 (枝葉・根、幹)：約16,000m³

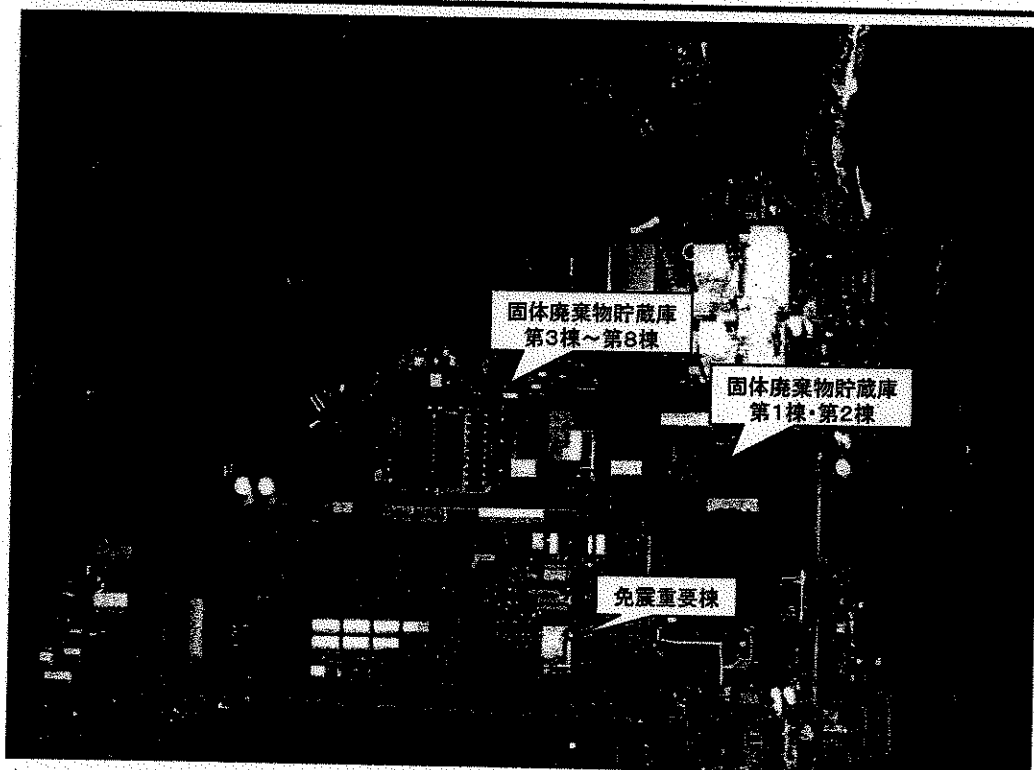
旧ハリポート
 (空間線量率：0.03mSv/h)
 エリア占有率
 伐採木 (枝葉・根、幹)：約15,000m³

福島第一原子力発電所 固体廃棄物貯蔵庫の調査状況

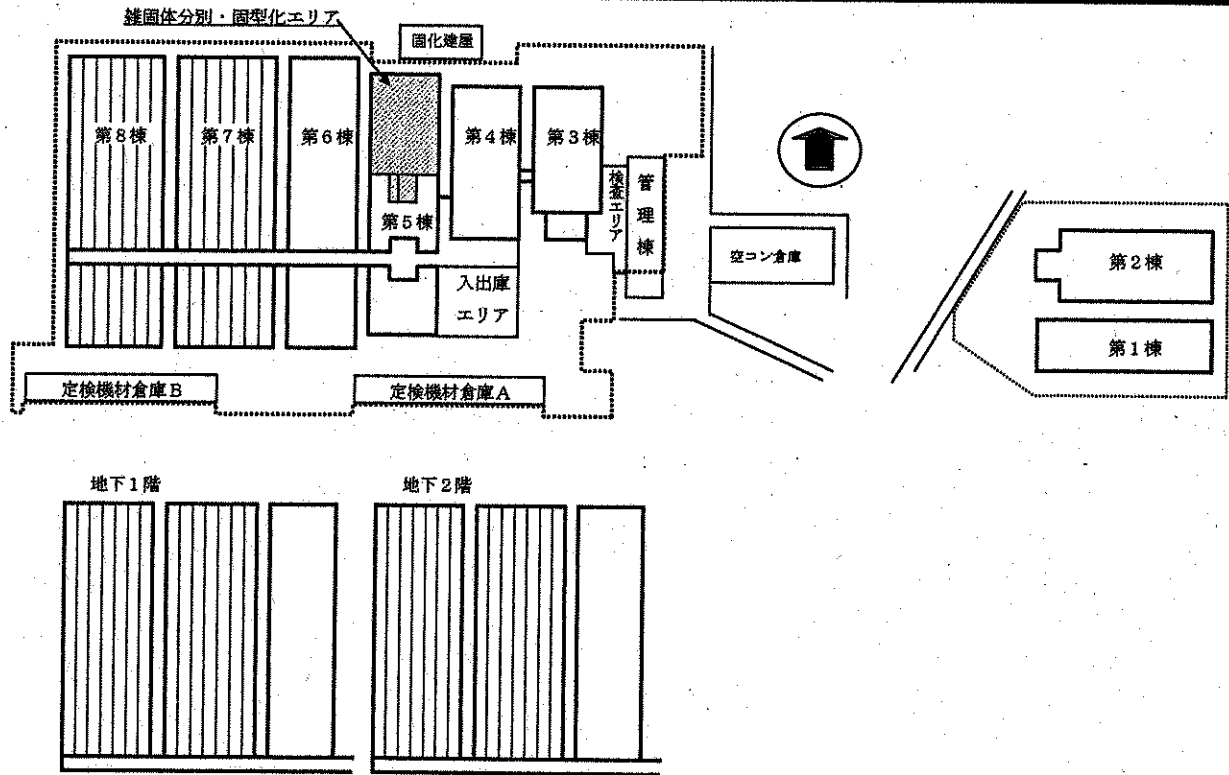
東京電力



固体廃棄物貯蔵庫 全体配置図



固体廃棄物貯蔵庫 全体配置図



調査概要

1. 目的
 - ・放射性固体廃棄物の保管状況と建物の確認
2. 調査対象
 - ・固体廃棄物（ドラム缶）を保管している5棟～8棟
3. 実施内容
 - ・各棟の内部を目視確認
 - ・各棟の周囲、内部の線量率測定、内部の空気中の放射性物質濃度を測定

調査結果（概要）

▶全棟で転倒しているドラム缶の割合(約0.7%)は少なく、転倒し蓋が開いているドラム缶は全体で32本確認された。

ドラム缶の収納物は、コンクリート片等をビニール袋に収納したものや、金属配管・鋼材等の非浮遊性の放射性物質であり、蓋が開いているドラム缶内から放射性物質が飛散することは無い。

また、空気中の放射性物質を分析した結果、6棟地上1階でCs-137がわずかに検出($9.5 \times 10^{-6} \text{Bq/cm}^3$)された以外は検出限界値未満であり、Cs-137は外部からの影響と考えられる。

▶固体廃棄物貯蔵庫の内部の線量率は0.3～30 $\mu\text{Sv/h}$ 程度であり、貯蔵庫周辺の線量率と比較しても同等あるいはそれ以下であった。

▶目視点検においては、建物には大きな損傷は確認されなかった。

		保管量 (本相当)	転倒数
第5棟	1階	約1,000	約40本
第6棟	1階	約12,000	約240本
	地下1階	約15,000	約440本
	地下2階	約14,000	約280本
第7棟	1階	約23,000	約60本
	地下1階	約20,000	約50本
	地下2階	約21,000	約20本
第8棟	1階	約27,000	なし
	地下1階	約21,000	約75本
	地下2階	約20,000	13体※

※大型廃棄物

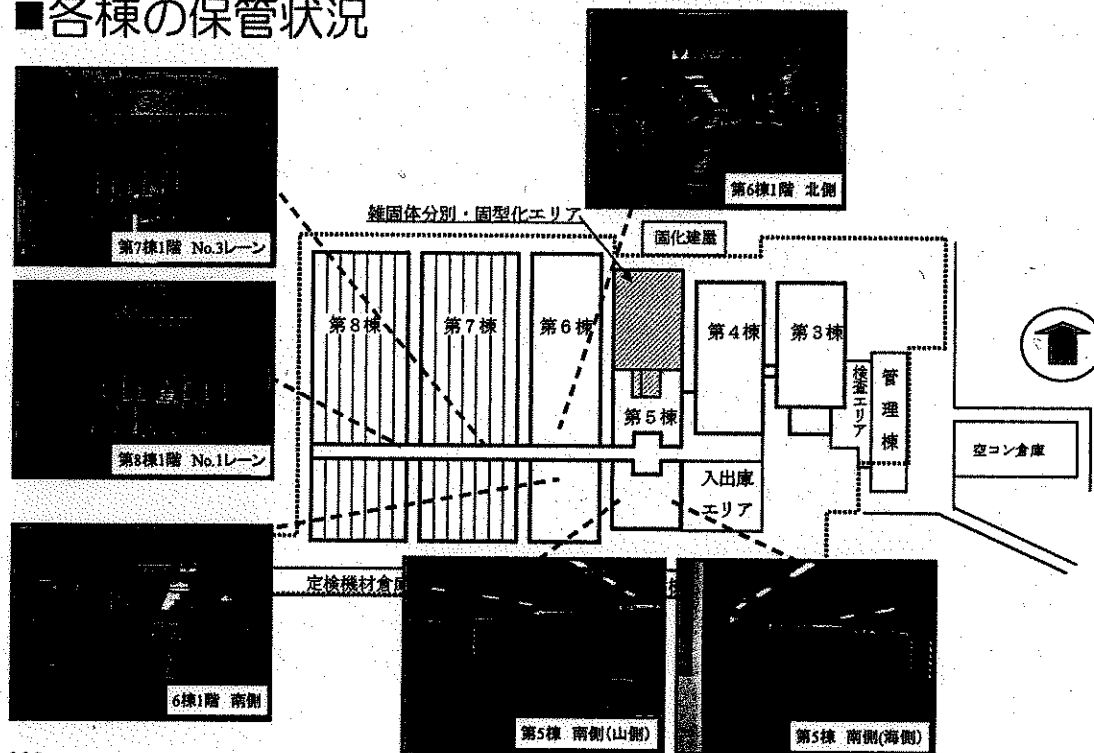
今後の予定

3年以内を目標に下記の事項について対応していく。

- 固体廃棄物貯蔵庫の復旧
- 開缶したドラム缶の復旧
- 転倒したドラム缶の整理整頓

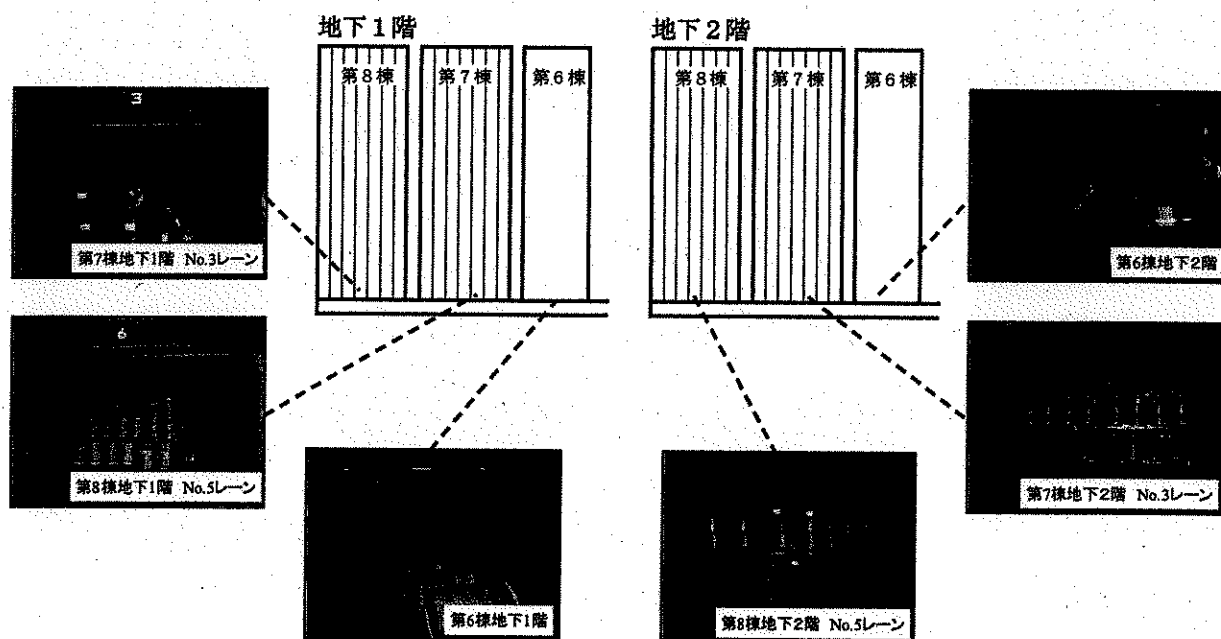
【参考】調査結果（第5～8棟：1階）

■各棟の保管状況



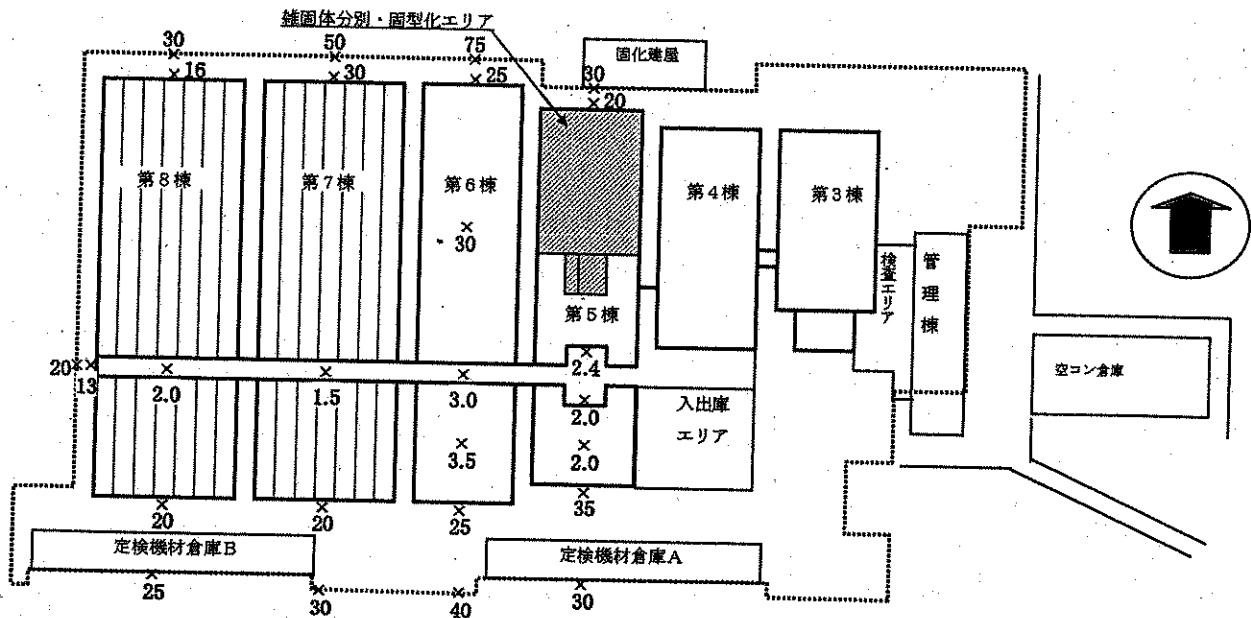
【参考】調査結果（第6～8棟：地下1、地下2階）

■各棟の保管状況



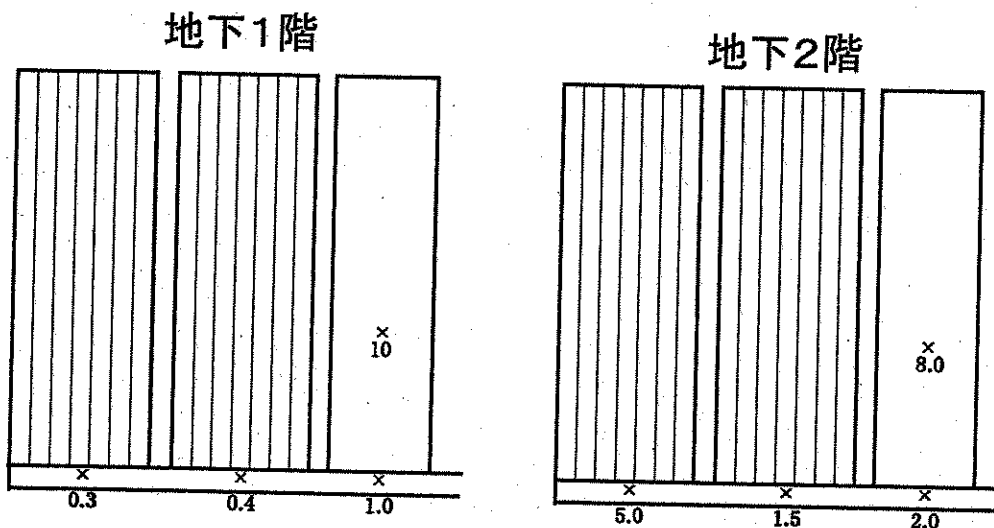
【参考】調査結果（第5～8棟：1階 線量当量率）

単位： $\mu\text{Sv/h}$



【参考】調査結果（第6～8棟：地下1、2階 線量当量率）

単位： $\mu\text{Sv/h}$



宛先:

日付:

2011/12/14 09:42

件名:

中長期ロードマップへの修正意見の件

エネ庁廃対室 苗村室長、三原、弥富 様
保安院 須之内、伊藤 様

標記の件、昨日東電から入手した最新版の本文・線表と、それに対する当室からの修正意見をお送りします。

○本文・線表

(See attached file: 計画書(案) r19-3.doc) (See attached file: 【添付

①-1】中長期ロードマップ r37_8.xlsx)

○当室からの修正意見

(See attached file: 中長期RM指摘事項_111213.doc)

あと補足ですが、昨日、細野・枝野両大臣に進捗状況や今後の予定等のレクを行いました。

その際の指摘事項で、第1期を当初2014年度までの3年間としておりましたが、これを2013年度までの2年間にするよう言われております。(上記資料にはまだ反省されていません)

> ご参考まで。

> 経済産業省
> 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部
> 原子力発電所事故収束対応室
> 係長 苦瓜 (にがうり)
> 〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1
> Tel: 03-3501-1512 (代) PHS [REDACTED] (個人直通)
> TEL: [REDACTED] (直)
> Fax: [REDACTED]
> e-mail: [REDACTED]
> *****



Fw: 【中長期ロードマップ 12/15 0:26時点】最新版の送付について
宛先: [REDACTED]

2011/12/15 09:58

展開します。

—— 転送者: [REDACTED] 転送日: 2011/12/15 09:58 ——

送信元:
宛先:

[REDACTED]

Cc:

[REDACTED]

日付: 2011/12/15 09:55
件名: 【中長期ロードマップ 12/15 0:26時点】最新版の送付について

保安院
資工庁 関係各位

お世話になっております。現時点での最新版のロードマップを送付します。
本日20時の打ち合わせ時には修正が入り得るとのことです。
一部の方には東電様からのメールと重複しますことをご容赦願います。

パスワードは、[REDACTED] です。

田中 青木様

2011/12/15 00:26:03

送信元:
宛先:
Cc:

[REDACTED]

日付: 2011/12/15 00:26
件名: 【中長期ロードマップ】最新版の送付について

エネ庁 青木様
(CC: 関係各位)

いつもお世話になっております。

標記につきまして、最新版を送付致します。

プール燃料取り出しを始め、社内未調整箇所が何点か存在していることから、
明日20時からの全体打合せまでには修正が入り得ることをご承知置きください。

宜しくお願い致します。

以上

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部サイクル企画G
副長
tel :
fax :
e-mail :

Original Message

From:
To:
Cc:

Sent: Wednesday, December 14, 2011 10:56 PM
Subject: 中長期ロードマップに関する全体打合せについて

> 東京電力 様

> いつもお世話になっております。
> 中長期ロードマップにつきまして、3点連絡申し上げます。

> ①全体打合せ
> 公表前最後になろうかと思いますが、
> 東電殿、保安院、資工庁の3者による全体打合せを
> 明日(15日)の20時から開催したいと考えております。
> (金曜日は原災本部、統合対策会議等でバタバタするため。)
> その際、ロードマップの改訂版に加えて、
> 東電殿で作成されると伺っているQAについてもお示し頂けると幸甚です。
> 関係者の調整を頂きたく、よろしくお願い申し上げます。
> 場所については、ご足労をお掛け致しますが、
> 経産省の会議室(別館8階 827会議室)で行いたいと思います。

> ②SFP燃料取出しと汚染水に関する少人数打合せ
> 全体打合せに先立ち、
> 懸案事項として残っている使用済燃料プール燃料取り出しと
> 滞留水の件について、明日の昼間に少人数で打合せを
> 行いたいと考えております。時間は追って連絡致します。

> ③修正版資料の送付
> 現在、修正版を作成されており明朝にはお送り頂けると伺っております。
> お送り頂く際には、本メールのCCに入っている者全員宛てにお送り
> 頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

>
>
>

> 青木 広臣 Hiroomi AOKI

> 経済産業省 資源エネルギー庁
> 電力・ガス事業部 原子力政策課
> 原子力発電所事故収束対応室

> 〒100-8901
> 東京都千代田区霞が関1-3-1
> TEL : (事故収束対応室)
> (原子力政策課)

FAX: [REDACTED] (事故収束対応室)
(原子力政策課)
Email: [REDACTED]
URL: http://www.meti.go.jp

-----Original Message-----

From: [REDACTED] [mailto:[REDACTED]]
Sent: Wednesday, December 14, 2011 9:28 AM
To: [REDACTED]
Cc: [REDACTED]

Subject: Re: 中長期ロードマップ最新版の送付

青木さま

いつもお世話になっております。

昨日お送りした版は、苦瓜様よりお電話をいただいた時点のもので、必ずしも一昨日いただいたコメントを反映できた版ではなかったことをご理解ください。

また、対応について未だ社内検討中のものもございますため、反映版の送付につきましては少々お待ちください。

宜しくお願い致します。

以上

東京電力株式会社
原子燃料サイクル部サイクル企画G

副長

tel: [REDACTED]

fax: [REDACTED]

e-mail: [REDACTED]



中長期RM指摘事項_111213 (当社回答).doc 【添付①-1】中長期ロードマップr38_3.xls



計画書(案)r20.doc

中長期ロードマップ指摘事項

平成23年12月13日

○5-1. (1) 原子炉の冷却計画

- ・循環注水冷却設備の信頼性向上 (P10)

「施工内容などを検討し、実施していく。」とあるが、「配管等の一部材質強化・耐震性向上」と施工内容を記載しているので「施工内容などを検討し、」は不要ではないか。

→ 拝承。ただし、「その運転状況等を踏まえた上で、・・・実施していく」に修正。(社内調整中)

書式変更: フォント: (英) MS ゴシック, (日) MS ゴシック

書式変更: フォント: (英) MS ゴシック, (日) MS ゴシック

○5-1. (2) 滞留水処理計画

- ・全体が Pending
- ・上から6行目 「～引き続き設備改善や延命化対策」の「延命化」は、瀕死の状況とのイメージがあるので、別な表現に変更。

→ 拝承。「延命化」を「長期使用等」に変更。

○5-2. (2) 放射性廃棄物管理計画

- ・個体廃棄物管理 (P12)

水処理二次廃棄物については「遮蔽措置について実施していく」とされていることから、ガレキ等についても「敷地境界での放射線量低減対策のための措置等について検討・実施していく」ではなく「敷地境界での放射線量低減対策のための措置等について実施していく」とすべきではないか。線表の検討部分(方策検討)も不要ではないか。

→ 拝承。「ガレキ等の放射線量影響等を踏まえ、・・・実施していく」に修正。

書式変更: フォント: (英) MS ゴシック, (日) MS ゴシック

○ P-13 5-2 (3)

- ・下から2行目の「なお、実施にあたっては、・・・低減状況も考慮する。」を削除。

→ 拝承。削除済み。

書式変更: 箇条書きと段落番号

○5-3. 使用済燃料プールからの燃料取出計画 (P)

- ・スケジュール、線表

対外的に、このように燃料取り出し完了までに時間を要すること、また、この工程が可能限り前倒ししたものであることを明確に説明し、理解を得ていくためにも、全号機同時にスタートできない理由を明確にすべきではないか。共用プールの受入れがボトルネックであることを定量的に示すべきではないか。各号機の特徴(水素爆発によるガレキの有無、線量の高低等)を鑑みると、取り出し終了までを含めて、線表は号

機別に記載すべきではないか。

・ 1号機

燃料取り出しまでに要する時間（5年間？）に行う作業を明確に記載すべきではないか。3号が3年以内に取り出し可能で、1号が出来ない理由を明確にすべきではないか。3号が終了しなければ1、2号を開始できない理由を明確にすべきではないか（フィードバックが必要としても終了させるまで待つ余裕はないのではないか）。検討（黄色の線）のみで作業が伴わない（現場に手を付けない）というのは政治的、社会的に説明がつかない。1号機カバーの取り外し、ガレキの撤去、再度カバーを設置する等、実作業を明確にし、線表にも記載すべきではないか。

・ 2号機

燃料取り出しまでに要する時間（6年間？）に行う作業を明確に記載すべきではないか。水素爆発が起きておらず、使用済燃料の健全性が保たれていることが予想されるのであれば、燃料取り出しは比較的短時間でできる旨を記載し、線表に反映すべきではないか。

・ 共用プール取出・改造

乾式キャスク仮保管設備を設置することについて、線表にも書くべきではないか。（本文と線表の整合性）

共用プールの改造は必要不可欠であると考えられるので、「必要に応じ」は不要ではないか。

○ 6. 福島第一原子力発電所における環境整備計画

・ 6-1 (2) 意欲向上策、6-3. 作業安全確保に向けた計画

現在実施している事項を継続することが基本と読めるが、新たに実施する作業環境向上に向けた取組は時期を明確にして線表にも記載すべきではないか。例えば、

- ・ 免震棟・企業棟について、非管理区域化を行っていく（〇〇〇〇年中）（p25）

→免震棟について実施時期追記

→企業棟については協力企業のニーズを見極めながら実施していくため、削除

- ・ 必要な休憩所の設置等（〇〇〇〇年中）（p25）

→工事の進捗により休憩所の移設・新設が必要になった場合に実施するものであり、期限を決めて対応するものではないため、取組時期の記載は不要と考える。

書式変更: インデント: ぶら下げインデント: 0.81 字, を 4.67 字, 最初の行: -0.81 字

- ・ 個人線量管理の一元化（〇〇〇〇年中）（p27）（確認中）

- ・ 医療の質の最適化と搬送の迅速化（〇〇〇〇年中）（p27）（確認中）

- ・ 事務スペースと福利厚生のための新しい施設の設置（〇〇〇〇年中）

→新しい施設の設置と決まったわけではなく、まずは免震棟の非管理区域化・旧緊急対策室の環境改善を行い、その後、企業棟の復活や事務棟新設などの検討

書式変更: インデント: ぶら下げインデント: 0.81 字, を 4.67 字, 最初の行: -0.81 字

を行いたいと考えている。実施内容の詳細や実施時期については協力企業の二
ーズを見極めながら決定するため、取組時期の記載は現段階でできない。

→線表については、免震棟の非管理区域化目標時期が記載されているため、これ
以上の追記は不要と考える。

以上

書式変更: インデント : ぶら下げインデ
ント : 0.81 字, 左 4.67 字, 最初の
行 : -0.81 字